

[ホーム](#)[テクノロジー](#)[テクノロジーコラム](#)[商品一覧](#)[サポート](#)[イベント・セミナー](#)[プレスリリース](#)[プレスリリース](#)

2018年10月10日

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)[当社へのお問い合わせ](#)[このコンテンツについて](#)[利用条件](#)[個人情報保護ポリシー](#)[2018年](#)[新着情報](#)

## 職場活性化支援サービス「いきいき@職場の健康」を販売開始

いきいき職場で会社は変わる！ 活気ある職場作りを効率的に実現

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ（代表取締役社長：新田将人 本社：横浜市港北区）は、「職場活性化支援サービス『FUJITSU Software いきいき@職場の健康』（以下：「いきいき@職場の健康」）」を11月より販売開始します。

本サービスは、企業が保有するストレスチェックデータを分析し、職場の活性状態をフィードバックするとともに、その活性状態に応じた改善施策をアドバイスします。さらに勤怠データやコミュニケーションデータを利用することで、目標値を明確にした改善活動の計画立案から進捗確認、振り返りまでを支援します。これらにより、職場の活性状態に合わせた効率的な改善活動を行うことができます。

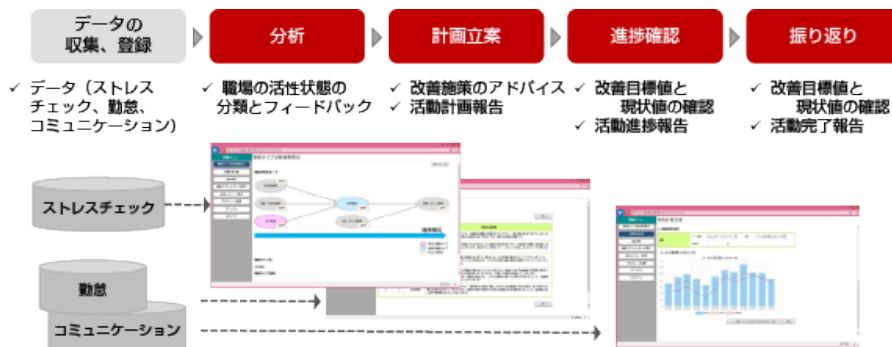
当社は、本サービスにより、職場の活性化を支援し、企業の健康経営に貢献していきます。

### 背景

近年、従業員の活力を向上する「職場の活性化」は、経済産業省が推進する健康経営優良法人（ホワイト500）の評価ポイントに明確に謳われる等、健康経営を目指す企業にとって重要な活動になっています。

富士通グループでは、社内でのメンタルヘルスケアの取り組みのノウハウを、ストレスチェック支援システム「e診断@心の健康」[（注1）](#)としてお客様にも広くご利用頂いております。本サービスでは、企業が所有するストレスチェックデータに加えて勤怠データやコミュニケーションデータを分析対象とすることにより、「職場の活性化」の計画立案から進捗確認、振り返りまでの改善活動を支援します。

### 本サービスの特長



「いきいき@職場の健康」の概要イメージ

#### 1. 職場の活性状態を基に改善施策をアドバイス

東京大学医学系研究科川上研究室との共同研究成果 [（注2）](#) を用い、企業が保有する従業員のストレスチェックの結果 [（注3）](#) を、資源（職場の強み、弱み）と負担（仕事の量や質）

高品質  
アジャイル開発  
技術

Agile<sup>+</sup>



の観点で職場毎の活性状態としてタイプ分けし、目指すべき『健康いきいき職場』へ向けた、改善施策をアドバイスします。これにより、改善活動における負担（現状の把握、施策の検討など）を軽減します。

## 2. 職場の実態に則した改善活動を支援

勤怠データやコミュニケーションデータを活用することで、職場の実態（残業時間、メールの受発信時刻、会議頻度と時間、等）を把握できます。これにより、活動計画立案時に最適な改善目標の設定と、定期的な改善状況の確認を行うことが可能です。

### 提供価格、および提供時期

サービス名	提供価格（税別）	提供時期
FUJITSU Software いきいき@職場の健康 SaaS	個別見積（注）	2018年11月末より

（注）利用者数によって価格は異なります。

### 販売目標

2021年度末までに売上3億円（当社の決算期は3月末日です）

### 商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

### 注釈

- （注1） ストレスチェック支援システム「e診断@心の健康」：  
厚生労働省の委託研究版が作成した「職業性ストレス簡易調査票」を基にしたストレス診断支援システム
- （注2） 東京大学医学系研究科川上研究室との共同研究成果：  
「健康いきいき職場づくりのために職場改善の目標を明確にする手法」を利用
- （注3） ストレスチェックの結果：  
新職業性ストレス簡易調査票短縮版が対象

### 関連リンク

- <http://www.fujitsu.com/jp/fst/products/ikiiki/>（「いきいき@職場の健康」紹介サイト）

## いきいき@職場の健康に関するお問い合わせ


### Webでのお問い合わせ

[入力フォームへ](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております。

### お電話でのお問い合わせ

富士通コンタクトライン（総合窓口）

 **0120-933-200**（通話無

料）

受付時間 9:00～12:00および13:00～17:30（土・日・祝日・当社指定の休業日を

除く)

プレスリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

## オフショア開発に適した品質監査技法をツール化 ～「PGRelief」の適用により、委託開発の QCD リスクを低減～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ（代表取締役社長：天野 宏、本社：横浜市港北区）は、C/C++および、Java®のソースコード静的解析ツール「PGRelief（ピージーリリーフ）」の新バージョン「PGRelief 2013」を販売開始します。

「PGRelief 2013」では、当社がこれまで実施した 100 システム以上のソースコード診断経験や 10 年以上のオフショア開発の品質管理で培ったノウハウを元に、ソフトウェアの品質課題に加えて改善策をレポートする品質監査支援機能を、ソースコード静的解析ツールで初めて搭載しました。

これにより、ソースコード単位だけではなく、機能／システム全般での改善点の把握を可能とし、特にオフショア等の外部委託に対する品質監査のスピード、精度向上に大きく貢献します。

国内のソフトウェア開発は、人手不足・コスト削減を背景にオフショア開発が急速に拡大していますが、品質不良や納期遅延により、必ずしも期待した効果が出ていません。原因の1つは、製造工程（コーディング）を含めた品質判断があいまいで、ソースコードに混入したバグの多くが後工程（試験）で検出されていることにあります。

この問題を解決すべく「PGRelief 2013」では、ソフトウェア全体に渡る改善策を早く高精度で抽出する品質監査支援機能を提供します。これまでの製造工程における品質判断は、オフショア側の申告（レビュー結果等）によるものが中心でした。今回の「PGRelief 2013」では、オフショア側の申告に頼らず、生産物であるソースコードのみで客観的な品質判断・改善案をレポートします。これにより、委託元主導の品質改善を図ることができます。

当社オフショア開発に適用したところ、開発スキルやソースコードの弱点ポイントの把握が可能となり、ソースコードのレビュー強化・構造見直しやテスト項目の拡充が行われるようになりました。これにより前工程で品質が高まった結果、試験工程における品質不良率（バグ発生率）が約 20%低減、納期遅延も無くなりました。

### 【「PGRelief 2013」のエンハンスポイント】

#### 1. 品質監査支援機能の追加（PGRelief C/C++, PGRelief J）

個々のソースコードのチェック結果をプロジェクトや機能単位でまとめ上げ、品質に問題があるプロジェクトや機能、その理由や改善方法を診断レポートとして生成します。

##### ・ソースコードの品質評価

品質特性や問題特性の観点やメトリクスと指摘内容の相関関係から、ソースコードに内在する問題や改善策をレポートします。リスクとリスクを回避するための解決策がわかります。

##### ・ソースコードの静的検証作業評価

静的解析結果の検証状況とコーディング規約の適用状況をレポートします。コーディング品質の良し悪しがわかります。

## 2. 欠陥や非互換に対する検出強化 (PGRelief C/C++, PGRelief J)

### ・PGRelief C/C++での強化:

C/C++プログラミングにおける重大な欠陥の一つにファイルへの操作誤りがあります。PGRelief 2013 では、より強力にファイルへの操作誤りを検出できるようにチェックルールの追加し、これまで以上に安全、安定したアプリケーション開発を可能とします。

### ・PGRelief J での強化:

Android™を利用したアプリケーション開発の増加に伴って、品質問題が多く報告されています。近年では、セキュリティ脆弱性に関する問題が増えています。PGRelief 2013 では、セキュリティ脆弱性を検出できるようにチェックルールの追加し、これまで以上に安全、安定したアプリケーション開発を可能とします。

## 3. 解析対象の追加 (PGRelief C/C++, PGRelief J)

### ・PGRelief C/C++での強化:

マイクロソフト社製 Microsoft® Visual C++ ®2010 のプログラムの解析が可能になりました。

### ・PGRelief J での強化:

JDK® 7.0 で開発したプログラムの解析が可能になりました。

## 【販売価格および出荷時期】

### ・「PGRelief C/C++ 2013」および、「PGRelief J 2013」

製品名	販売価格(税別)	出荷時期
ノードロックライセンス	380,000 円より	即日

上記以外の製品およびアップグレード&サポートサービスをご用意しております。

詳細は下記の関連 Web サイトをご参照ください。

## 【販売目標】

・PGRelief C/C++ 2013 : 2014 年度末までに、2,000 ライセンス出荷

・PGRelief J 2013 : 2014 年度末までに、2,000 ライセンス出荷

## 【関連 Web サイト】

・<http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr/> (「PGRelief C/C++ 2013」紹介サイト)

・<http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr-java/> (「PGRelief J 2013」紹介サイト)

## 【商標について】

\* Microsoft、Visual C++は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\* Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

\* Android は、Google Inc.の登録商標です。

\* その他の記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

## 《お客様お問い合わせ先》

インフォメーションセンター

電話: 0120-052-070 (フリーダイヤル) [ 平日9時~12時、13時~17時受付 ]

2012 年 5 月 22 日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 職場のメンタルヘルス対策を支援する「e 診断@心の健康」V6.0 をリリース ～ 「新職業性ストレス簡易調査票」のサポート、「労働安全衛生法」の改正案に対応した運用支援機能の強化～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(代表取締役社長:天野 宏、本社:横浜市港北区)は、職場のメンタルヘルス対策を支援する「職業性ストレス簡易診断システム『e診断@心の健康』」の最新バージョン(V6.0)を開発し、6月25日より販売を開始します。本製品は、2001年の初版リリース以来、多くの企業・団体で導入され、年間約100万人以上が利用しています。

「e診断@心の健康」は、職場のパソコンから簡単な操作でメンタルチェックが行えるシステムです。産業医や産業保健スタッフによる個人向け早期予防対策や、事業者によるストレス職場の環境改善活動に役立てることができます。

V6.0では、国内で広く使用されている「職業性ストレス簡易調査票」<sup>(注1)</sup>を元に開発された「新職業性ストレス簡易調査票」<sup>(注2)</sup>をサポートしたことで、健康リスクの面だけでなく、個人のワークエンゲイジメント<sup>(注3)</sup>や職場の一体感に関する評価ができるようになり、健康的でいきいきと働くことができる職場づくりを目指したメンタルヘルス対策を支援します。

また、国会で審議中の「労働安全衛生法」の改正案<sup>(注4)</sup>に対応したメンタルチェックの実施を効率的にできるようになります。

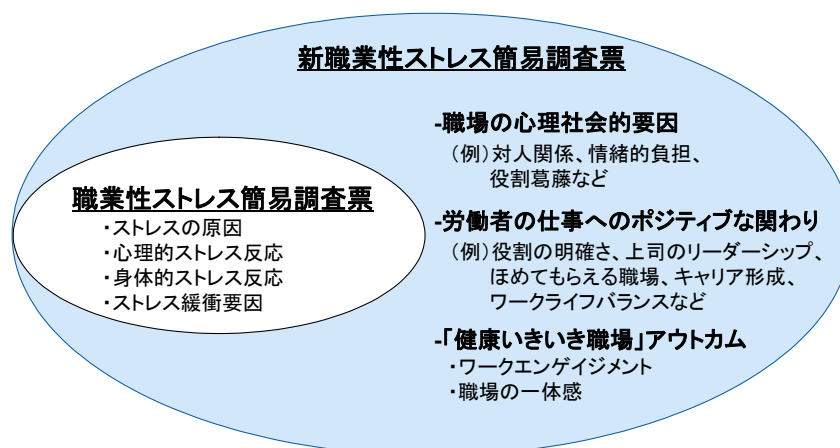
### 【本製品の特長】

#### 1. 「新職業性ストレス簡易調査票」のサポート、「健康いきいき職場」づくりを支援

「新職業性ストレス簡易調査票」は、健康の保持・増進を目的とした従来の「職業性ストレス簡易調査票」に、職場の心理社会的要因(部署や事業場レベルでの仕事の資源)や労働者の仕事へのポジティブな関わり(ワークエンゲイジメント)を測るための要素が加わった新しい調査票です。

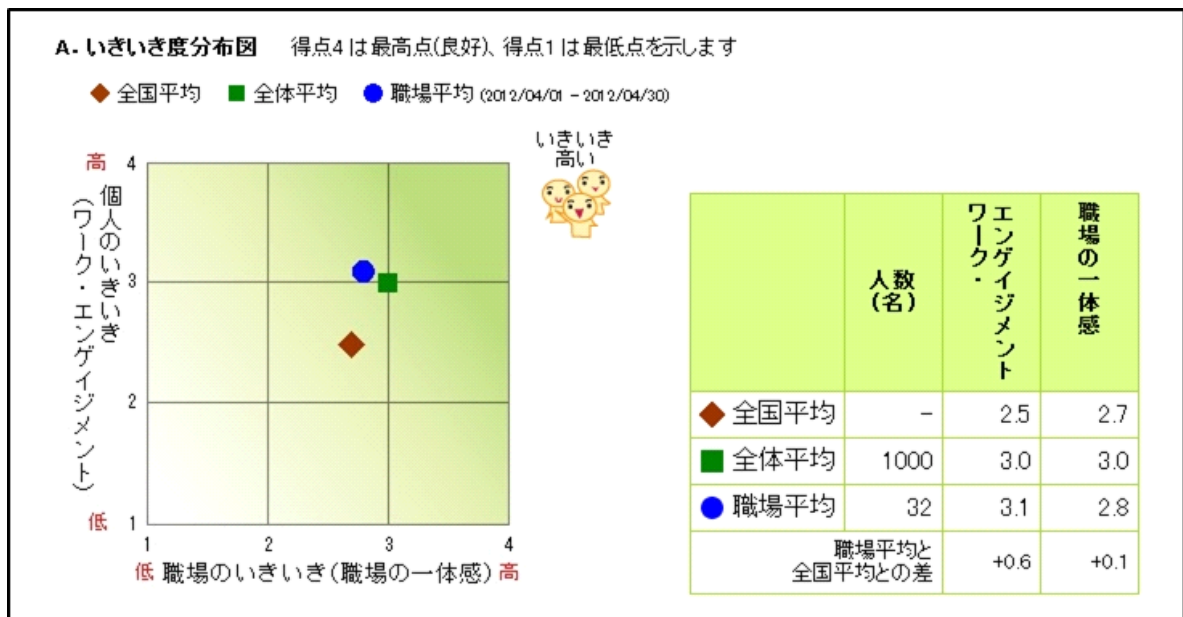
V6.0では、「新職業性ストレス簡易調査票」をサポートするとともに、組織のストレスと活性状態を総合的に分析する「健康いきいき判定」を提供することで、職場の一体感や個人のワークエンゲイジメントを高め、生産性の高い「健康いきいき職場」づくりを目指すメンタルヘルス対策を支援します。

#### 「新職業性ストレス簡易調査票」による測定内容





## 健康いきいき判定図の結果例

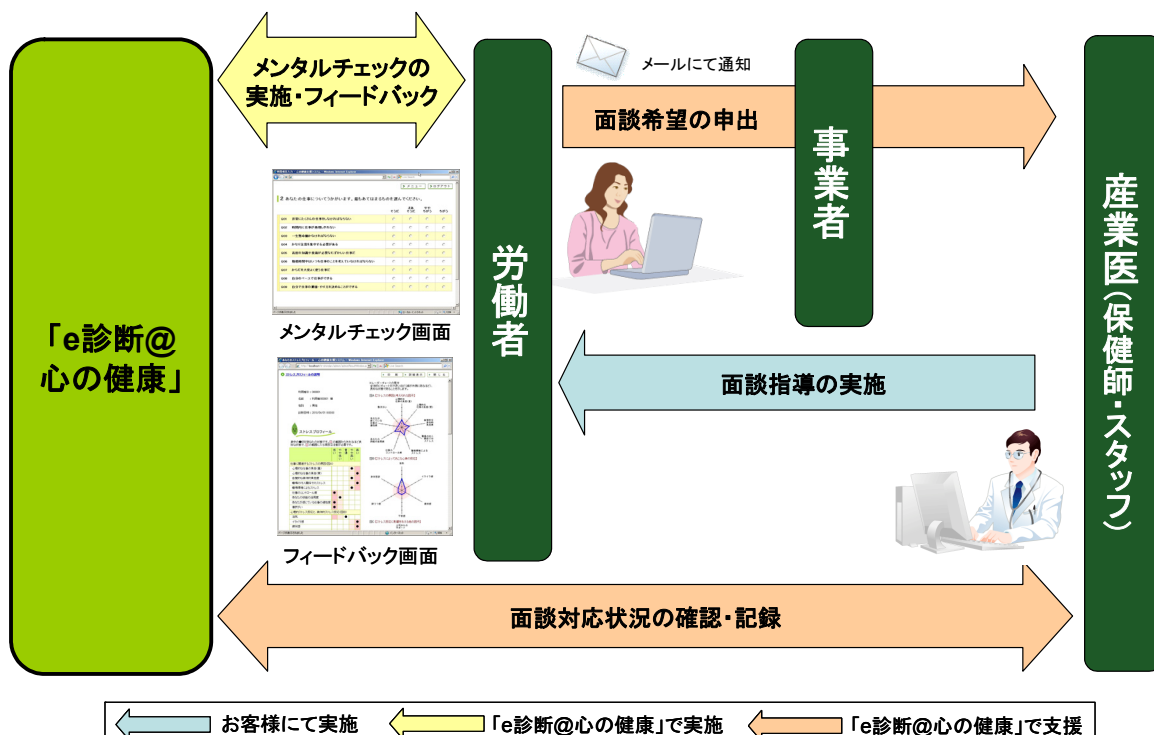


## 2. 「労働安全衛生法」の改正案に対応した運用支援機能の強化

改正案では、労働者に対するメンタルチェックの実施、希望者に対する医師の面談指導の実施などが義務付けられます。新バージョンである V6.0 では従来のメンタルチェック実施機能に加え、以下の機能強化をすることでメンタルチェックのフィードバック、面談の申出から対応状況の管理までをシームレスに行うことができます。

- 既存の職業性ストレス簡易調査票に含まれていて、標準的な質問項目となる見込みの疲労・不安・抑うつを測定する9項目の結果に着目したコメントをフィードバックする機能
- メンタルチェックの結果画面から面談の希望を担当者へ申し出る機能および、対応状況の記録確認機能

### 「労働安全衛生法」の改正に合わせた「e診断@心の健康」の支援範囲



**【 販売価格及び出荷時期 】**

製品名	販売価格(税別)	出荷時期
e 診断@心の健康 V6.0	100 万円から	2012 年 7 月(予定)

**【 販売目標 】**

2015年度1,000企業・団体の導入

**【 関連Webサイト 】**

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/kokoro/> (「@心の健康」商品紹介サイト)

< イベント情報 > 当社は「第 85 回日本産業衛生学会」に「e 診断@心の健康」V6.0 を出展します。  
詳細は下記サイトをご覧ください。  
<http://jp.fujitsu.com/fst/events/2012/0531.html>

**【 商標について 】**

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

**【 注釈 】**

- (注1)厚生労働省「平成11年度作業関連疾患の予防に関する研究」の成果物です。
- (注2)平成21－23年度厚生労働科学研究費補助金(労働安全衛生総合研究事業)厚生労働科研費「労働者のメンタルヘルス不調の第一次予防の浸透手法に関する調査研究」の成果物です。
- (注3)ワークエンゲイジメント: 自分の仕事に対するやりがいや情熱、誇りなどの度合い
- (注4)平成23年10月24日付け厚生労働省発基案1024号による諮問のあった「労働安全衛生法の一部を改正する法律案要綱」

以上

《お客様お問い合わせ先》

インフォメーションセンター

電話: 0120-052-070(フリーダイヤル)

(平日9時～12時、13時～17時 受付)



## 静的解析ツール「PGRelief」が「ISO 26262」のツール認証を取得

### ～ 静的解析ツール『PGRelief 2012』を販売開始 ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(代表取締役社長:天野 宏、本社:横浜市港北区)は、C/C++および、Java のソースプログラム向け静的解析ツール「PGRelief(ピージーリリーフ)」の新バージョン「PGRelief 2012」を 2012 年 6 月 11 日より販売開始します。

「PGRelief 2012」は、機能安全規格「ISO 26262」に準拠するソフトウェア開発に適合しているツールとして、第三者認証機関である JQA(一般財団法人日本品質保証機構)より認証を取得しました。

組込み系ソフトウェア開発では、その不具合がもたらす社会的/ビジネス的な影響の大きさから、ソフトウェア品質を高める取組みが行われています。特に、自動車業界においては、MISRA-C ガイドラインのように独自のソフトウェア開発標準規格の適用が進められ、更に昨年 11 月には「自動車に搭載される電気・電子機器などのハードウェアおよびソフトウェアを対象とした安全規格 ISO 26262」が制定されました。

「PGRelief」は、「ISO 26262」で求められる最も厳しい安全度水準である ASIL-D (Automotive Safety Integrity Level -D)に対応したソフトウェアツールとして、JQA より認証を取得しました。これにより、お客様の機能安全に向けたソフトウェア開発および「ISO 26262」認証取得に貢献します。

1. 「PGRelief」が提供するコーディングルールへの適合性チェックおよびプログラムの欠陥チェックが、「ISO 26262」のパート 6「製品開発 ソフトウェアレベル」で求められる開発プログラムの検証を効率化します。
2. お客様が「ISO 26262」の認証を取得する際に、使用する「PGRelief」について妥当性の証明が不要になります。

「PGRelief」は今後とも、ソフトウェアの品質向上支援、および、品質保証支援に取り組んでまいります。



認証番号: JQA-KC12001

#### 【第三者認証機関 JQA のコメント】

『弊機構は「PGRelief」を「ISO 26262」に基づいて評価し、適合していることを確認しました。』

「PGRelief」は静的解析ツールとして、安全関連系の開発を支援し、安全なソフトウェア実現に貢献する信頼性の高いツールであるといえます。』

## 【新バージョンでの他の強化項目】

新バージョンである PGRelief 2012 では以下の強化も実施しています。

### 1. ライセンス管理方式の刷新 (PGRelief C/C++, PGRelief J)

お客様によるライセンス管理の柔軟性の向上および、複数ライセンスの統合管理(ライセンス使用状況の把握、部署毎のライセンス配分、ライセンスサーバの冗長運用、等)を可能とするため、ライセンス管理方式を従来のハードウェアキー方式から、ソフトウェアライセンス方式に刷新しました。

### 2. 欠陥や非互換に対する検出強化 (PGRelief C/C++, PGRelief J)

#### ・PGRelief C/C++での強化:

C/C++プログラミングにおける重大な欠陥の一つが、領域破壊を引き起こすバッファオーバーランです。PGRelief 2012 では、より強力にバッファオーバーラン問題を検出できるようにチェックルールを追加し、これまでに以上に安全、安定したアプリケーション開発を可能とします。

#### ・PGRelief J での強化:

Android™を利用したアプリケーション開発の増加に伴って、Android™ SDK が短期間でバージョンアップされ、Android™ SDK のバージョン間での API の追加・削除・変更による非互換が問題になっています。PGRelief 2012 ではバージョン間での非互換箇所検出を可能とし、お客様アプリケーションの動作プラットフォーム変化への対応を効率的に支援します。

### 3. 大規模資産に対する品質管理の改善 (PGRelief 品質監視オプション)

大規模資産での品質管理を運用しやすくするために、PGRelief 2012 の品質監視オプションでは、資産解析と品質データ収集を分けて実施できるように改善しました。これにより、大規模資産に対する資産解析を並列実行することができ、資産解析から品質データ収集までのトータル時間を短縮できます。

**【販売価格および出荷時期】**

- ・「PGRelief C/C++ 2012」および、「PGRelief J 2012」

製品	価格（税抜き）	販売開始日
ノードロックライセンス	380,000 円より	6 月 11 日

上記以外の製品およびアップグレード&サポートサービスをご用意しております。

詳細は下記の関連 Web サイトをご参照ください。

**【販売目標】**

- ・ PGRelief C/C++ 2012 : 2013 年度末までに、2,000 ライセンス出荷
- ・ PGRelief J 2012 : 2013 年度末までに、2,000 ライセンス出荷

**【関連 Web サイト】**

- ・ PGRelief C/C++ 2012 : <http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr/>
- ・ PGRelief J 2012 : <http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr-java/>

**【商標について】**

- \* MISRA とそのロゴは、MISRA コンソーシアムを代表して MIRA Ltd. の登録商標です。
- \* Java、JDK は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- \* Android™ は、Google Inc. の登録商標です。
- \* その他の記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以上

**《お客様お問い合わせ先》**

インフォメーションセンター

電話： 0120-052-070（フリーダイヤル）[ 平日9時～12時、13時～17時受付 ]

2012 年 10 月 29 日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 情報漏えい対策を強化する『Portshutter Premium』を販売開始

### ～ パソコンからの社内ネットワーク以外へのアクセス遮断／制限を実現 ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(代表取締役社長:天野 宏、本社:横浜市港北区)は、パソコンからの情報漏えい対策ソフト「Portshutter Premium V1.0(ポートシャッター プレミアム)」を開発し、2012 年 10 月より Windows 8 搭載の富士通法人向けパソコンにバンドル提供、2013 年 1 月より一般販売を開始します。

Portshutter シリーズは 2004 年の初回リリース以降、年間約 100 万ライセンスが導入され、パソコンへの各種デバイスの接続制限によって多くの企業・団体様の情報漏えい対策に貢献してきました。本製品は従来の機能に加え、ネットワークへの接続制限機能を搭載しました。信頼されたネットワーク以外へのアクセスを遮断/制限することにより、お客様の情報漏えい対策を強化します。

#### 【Portshutter Premiumの新規機能】

##### 1. ネットワーク接続制限

ビジネスの現場では、出張などの人の移動により、パソコンや簡易媒体の持ち出し・持ち込みも頻繁に発生します。残念ながら、人為的に情報を持ち出されて知らないうちにインターネットに流出、という可能性はゼロではありません。Portshutter Premiumは、登録したネットワーク以外へのアクセスを制限するため、セキュリティ対策が施された特定のネットワークだけにアクセスする環境を実現します。

##### 2. Bluetooth 接続の無効化

パソコンからのデータの持ち出しはBluetoothを使うことでも可能です。Portshutter Premiumは携帯電話やスマートフォンなどのBluetooth搭載機器とのペアリングを禁止し、情報漏えいの危険性を低減します。

#### ネットワーク接続制限の効果

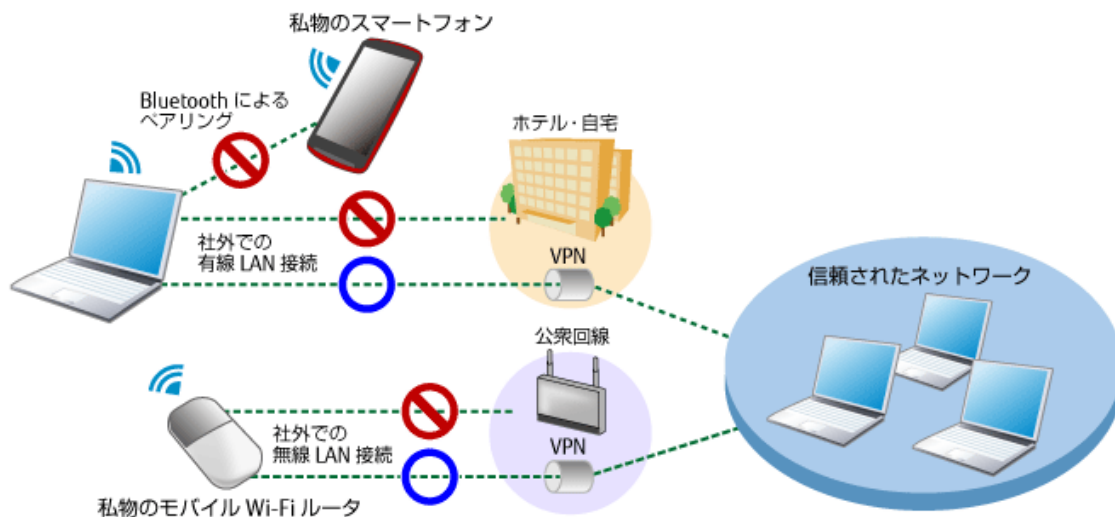


図 1: ネットワーク接続を制限/許可するイメージ

ネットワーク接続制限機能で社内のネットワーク以外に接続させない設定をしておくことで、パソコンを持ち出してもホテルや自宅でインターネットにアクセスすることはできなくなります。そのため、パソコン内の重要な情報がインターネットを介して流出する危険はほとんどなくなります。

## 【複数台のクライアントパソコンの集中管理も可能】

従来の Portshutter と同様に「Portshutter Premium 集中管理オプション」を導入することで、複数台のクライアントパソコンの設定を集中管理することが可能です。

### 【ネットワークの使用制限例】



### 【デバイスの使用制限例】

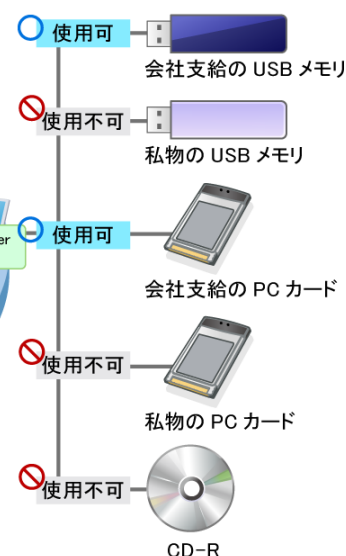


図 2: Portshutter Premium の集中管理

## 【販売開始時期】

製品名	販売開始時期
Portshutter Premium V1.0	2013 年 1 月(予定) (Windows 8 搭載の富士通法人向けパソコンには 2012 年 10 月よりバンドルされています)
Portshutter Premium V1.0 集中管理オプション	2013 年 1 月(予定)

## 【販売目標】

Portshutter Premium : 2013 年度末までに 100 万ライセンス出荷

Portshutter Premium 集中管理オプション : 2013 年度末までに 100 サーバーに導入

## 【関連 Web サイト】

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/portshutter/> (「Portshutter Premium」紹介サイト)

## 【商標について】

Bluetooth は、Bluetooth SIG, INC の登録商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以上

## 《お客様お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話: 0120-052-070(平日 9 時～12 時、13 時～17 時)

2012 年 11 月 26 日

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ  
ファルコンストア・ジャパン株式会社

## 安価でかつ簡易に実現できる事業継続ソリューションの提供開始

～ VMware と FalconStor GDP の組み合わせで企業様の BCP をサポート ～

株式会社 富士通ソフトウェアテクノロジーズ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：天野 宏）は、VMware と FalconStor GDP を組み合わせた、低価格かつ簡易な構築・導入を実現する事業継続ソリューションを本日より提供開始いたします。

日々データ量が増加する今、ビジネスを継続するうえで、データへのアクセスが中断したり、システムが停止してしまうことは、企業の存続にかかわりかねない重大な問題となっています。しかし、バックアップを二重化し、即時のリカバリに備えるためのシステムはコストが高く、専門知識を持った担当者が必要となります。

富士通ソフトウェアテクノロジーズとファルコンストア・ジャパン株式会社（以下、ファルコンストア社と表記）は、低価格でかつ簡単に導入いただける事業継続ソリューションを、実績のある FalconStor GDP を核に、富士通ソフトウェアテクノロジーズよりご提供することになりました。

### 【特長】

#### 1. 安価に事業継続対策が可能

本事業継続ソリューションでは、少ない投資で安心・安全の対策が可能です。

従来の方法で事業継続を検討する場合、高価なストレージや専用のサーバが必要になります。さらに構築作業もその都度のお見積となっていたため、万が一のための投資が高額となっていました。

しかし、今回のソリューションでは、VMwareで動作するFalconStor GDPを採用し、さらに構築作業の内容も明確にした定額とすることで、お客様に検討いただきやすいソリューションとしました。

#### 2. 難しいノウハウは不要

本ソリューションでは、単にソフトウェアの提供だけでなく、動作環境として必要なVMwareの構築とFalconStor GDPサーバの構築など、システム導入から製品保守までを一貫して実施するため、お客様において専門的なノウハウはまったく必要ありません。

また、FalconStor GDP に標準機能として搭載されているRecoverTracは、復旧プロセスを自動化するため、システムに対する専門知識が少ない方や管理者でも数分で復旧を実行することができます。

さらに、政府・官公庁より推奨されている万が一の障害/災害発生時のための復旧プロセスの訓練や準備も、運用中のアプリケーションやデータに影響を与えることなく、あらゆる状況からの復旧をテストすることができます。

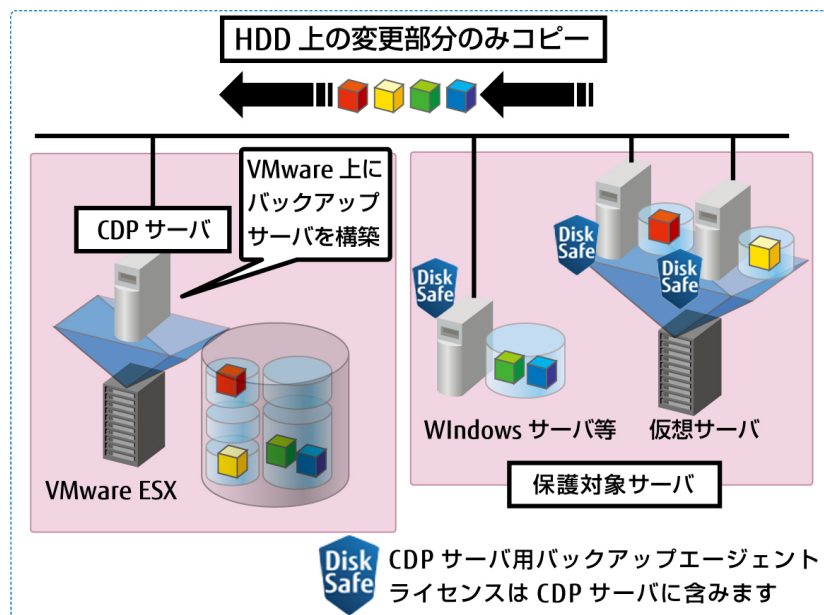


### 3. 既存の仮想環境への導入が容易

既にお客様環境にて VMware を導入している場合、新規にハードウェアを含めた VMware を追加構築することなく、本ソリューションを導入することが可能となります。

FalconStor CDP ソフトウェアを既存の VMware に導入することで、初期投資コストの削減にもつながります。

#### 【システム構成図】



#### 【ソリューション構成】

対象マシン	構成	内容
CDPサーバ	ソフトウェア およびライセンス	FalconStor CDP VA FalconStor CDP VA Storage Capacity - 1TB (1TB単位で4TBまで拡張できます)
	保守・サポートサービス	FalconStor CDP VA年間保守
	構築サービス	FalconStor CDP VAサーバ構築 VMware 構築
保護対象サーバ	ソフトウェア およびライセンス	FalconStor CDP VAに含まれます (保護対象サーバは最大15台まで)
	保守・サポートサービス	FalconStor CDP VA年間保守に含まれます

#### 【販売価格、および販売開始時期】

ソリューション名	価格(税別)	販売開始時期
FalconStor CDP 事業継続ソリューション 上記ソリューション構成 (FalconStor CDP-VA ライセンス、 年間保守、構築サービス) の場合	188 万円から	即日

※Storage Capacity 拡張分の費用は本価格には含まれません。

※その他 VMware のソフトウェアライセンス費用及びハードウェア費用は本価格に含まれません。



## 【販売目標】

2013 年度末までに 50 社に導入

## 【関連Webサイト】

- <http://www.falconstor.co.jp/> （ファルコンストア社 Webサイト）
- <http://jp.fujitsu.com/fst/services/falconstor/>  
（富士通ソフトウェアテクノロジーズ 「FalconStor」 紹介サイト）

## 【ファルコンストア・ジャパン株式会社について】

ファルコンストア・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：奥村泰志）は、米 FalconStor Software, Inc. の 100%出資子会社として、2001 年に設立されました。国内の大手パートナーを通じて、日本における FalconStor ソリューションの販売ならびに保守業務を行っています。障害・災害時の事業継続のために、単なるデータコピーではない本当の意味でのデータ保護ならびにディザスタリカバリのソリューションを提案、提供しています。

## 【富士通ソフトウェアテクノロジーズについて】

富士通ソフトウェアテクノロジーズは、富士通グループの一員として信頼性の高い ICT システムの構築に必須となるサービス／プロダクトを提供しています。社会や企業のニーズにこたえるため、クラウドコンピューティングなどの新しいテクノロジーを積極的に取り入れるとともに、ヒューマンセントリック社会の実現に向けたさまざまな技術開発に挑戦し、ICT 社会の未来造りに貢献しております。

## 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

## 《お客様お問い合わせ先》

### FalconStor CDP についてのお問い合わせ先

- ファルコンストア・ジャパン株式会社  
マーケティング部 山本  
電話：03-3556-0211  
E-mail: [pr@falconstor.co.jp](mailto:pr@falconstor.co.jp)

### 本ソリューションの全般についてのお問い合わせ先

- 株式会社 富士通ソフトウェアテクノロジーズ  
インフォメーションセンター  
電話：0120-052-070（フリーダイヤル） [ 平日9時～12時、13時～17時受付 ]

2010年5月10日  
キヤノン IT ソリューションズ株式会社  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## ウイルス対策ソフト「ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ」と IT 資産管理ツール「iConductor for 奉行」が PC セキュリティの分野で提携

～中堅・中小規模企業のセキュリティ対策・資産管理業務を強化～

キヤノン MJ IT グループのキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：浅田 和則 「以下キヤノン ITS」）と、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ（本社：横浜市港北区、代表取締役社長：天野 宏）は、2010年5月10日（月）より、PCの資産管理、およびセキュリティ対策状況の管理負荷軽減を実現する連携ソリューションの提供を開始します。

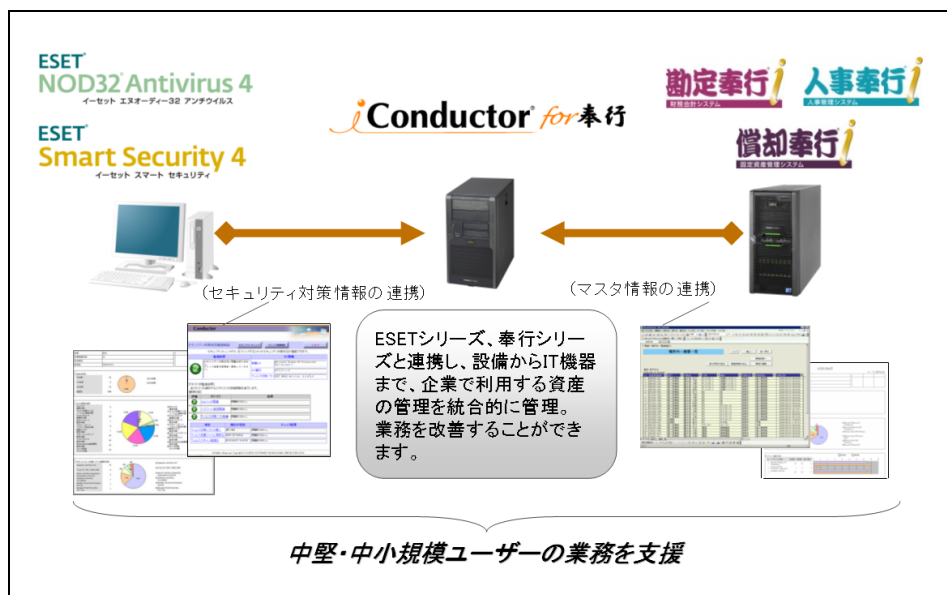
### 【連携ソリューションの概要】

PCのウイルス対策は、企業における情報セキュリティ対策の最優先事項ですが、対象となるPCの台数や利用場所を正確に把握にしていることが大前提となります。しかし、業務のIT化が進むにしたがいPCの台数も増加し、PCを管理する手間やコストは情報システムの専任担当がいらない中堅・中小規模の企業にとっては大きな負担となっています。

今回、キヤノン ITS が国内販売元として提供している ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ（総合セキュリティソフト「ESET Smart Security V4.0」およびウイルス対策ソフト「ESET NOD32 アンチウイルス V4.0」）と、富士通ソフトウェアテクノロジーズが提供する IT 資産管理ツール「iConductor（アイコンダクター） for 奉行」との連携を実現。

「iConductor for 奉行」の資産管理台帳との照合により、ESET シリーズの定義ファイルが更新されていない PC やインストールされていない PC を容易かつ正確に把握することが可能となり、中堅・中小規模企業の社内の情報セキュリティレベル向上と、PCの管理負荷軽減が容易に実現できます。

### 【連携イメージ】



### 【「ESET NOD32アンチウイルス V4.0」 / 「ESET Smart Security V4.0」について】

ESET NOD32アンチウイルス V4.0はウイルススキャン時の負荷を抑え、PCの軽快な操作感を実現したウイルス対策ソフトです。また、既知のウイルスだけでなく、新種のウイルスまでも非常に高い確率で検出する「ThreatSenseテクノロジー」を搭載し、ルートキットはもちろんマクロウイルス、ワーム、リスクウェア、トロイの木馬、アドウェア、ボット、ロジックボムなど、あらゆるマルウェアを検出します。その検出力は、第三者機関の各種アワードを多数受賞しており、非常に高い評価を受けています。

ESET Smart Security V4.0はESET NOD32アンチウイルス V4.0と同エンジンを搭載したウイルス・スパイウェア対策に加えて、パーソナルファイアウォール、迷惑メール対策機能を搭載した総合セキュリティソフトです。

### 【「iConductor for 奉行」について】

「iConductor for 奉行」は、資産管理ツール「iConductor」の機能に加え、株式会社オービックビジネスコンサルタントの基幹業務システム「奉行シリーズ」と連携。「奉行シリーズ」の人事マスタ情報や契約情報と連携することにより、組織変更等にもスピーディーに対応できる運用が可能です。また、ハンディーターミナルとバーコードを利用した現品把握（棚卸）により、「奉行シリーズ」で管理している資産情報を正確かつ容易に信頼性の高い情報にすることが可能です。

また、「iConductor for 奉行」は、PCの情報を収集する専用クライアントソフトウェアが不要なため、導入コストを大幅に削減することができます。

### 【株式会社オービックビジネスコンサルタント様からのコメント】

株式会社オービックビジネスコンサルタント（OBC） 代表取締役社長 和田 成史 様

「勘定奉行」をはじめとする、中堅中小企業向けの基幹業務パッケージ「奉行シリーズ」を展開しているOBCは、このたびの発表を歓迎いたします。弊社では、内部統制強化のソリューション群「奉行内部統制支援 Solution Framework」のラインアップとして、「iConductor for 奉行」を奉行シリーズとあわせて提案してまいりました。業務統制基盤を支えるソリューションとして、物品管理に加え、ITの管理が可能、さらにキヤノンITソリューションズ様の統合セキュリティソフトESETシリーズとの連携実現により、お客様にさらなる満足を提供できると確信しております。

### 【 関連Webサイト 】

- 「ESET Smart Security/ESET NOD32アンチウイルス」ホームページ  
<http://canon-its.jp/product/eset/>
- 「iConductor for 奉行」ホームページ：  
<http://jp.fujitsu.com/fst/services/iconductor/product-bugyo/>

### 【 商標について 】

- ・ ESET、ESET Smart Security、NOD32、ThreatSenseは、ESET, LLCならびにESET, spol. s.r.o.の商標または登録商標です。
- ・ 奉行、奉行V ERP、奉行 i、奉行 i シリーズ は、株式会社オービックビジネスコンサルタントの商標または登録商標です。
- ・ iConductorは株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズの登録商標です。
- ・ 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには必ずしも（TM、®）を記載しておりません。
- ・ その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以 上

<< 本ニュースリリースに関するお問い合わせ先 >>

■キャノンITソリューションズ株式会社

● 報道関係者のお問い合わせ先

経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

電話：03-5730-7108

● 一般の方のお問い合わせ先

商品事業本部 セキュリティソリューション事業部

電話：03-5730-7198

■株式会社 富士通ソフトウェアテクノロジーズ

● 報道関係者のお問い合わせ先

計画部

電話：045-475-5611

● 一般の方のお問い合わせ先

インフォメーションセンター

電話： 0120-052-070 [ 平日9時～12時、13時～17時受付 ]

2010年6月14日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 組織的な品質管理機能を大幅に強化

### ソースコード静的解析ツール『PGRelief 2010』の販売開始

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ（代表取締役社長：天野 宏、本社：横浜市港北区）は、多くのシステム開発の現場で導入頂き、お客様のプログラム品質向上をサポートしてきたソースコードの静的解析ツール「PGRelief（ピージーリリーフ）」の新バージョン「PGRelief 2010」を7月より販売開始します。

新バージョンでは、組織的な品質管理機能を大幅に強化。多くのソフトウェア技術者が参加するシステム開発プロジェクトの品質向上を強力にサポートします。

システム開発の現場では、コスト削減・納期短縮の要望と、品質向上に対する要求が厳しさを増しています。当社が提供する「PGRelief」は、ソースプログラムを多角的に静的解析することでプログラムの欠陥を指摘し、解決策を的確に提示する品質向上支援ツールです。「PGRelief」を導入することで、コーディングの段階で問題点を早期に見つけ出し修正することが可能となり、後工程になるほど手間やコストのかかる修正作業を大幅に削減します。また、開発担当者間の思い込みなどで発生しやすい問題点を的確に指摘することで、より品質が高く短い納期でのシステム構築に貢献してきました。

今回提供の新バージョン「PGRelief C/C++ 2010」では、関数にまたがった部分のメモリ操作誤りを指摘できる機能（「広域探索オプション」）を追加。「PGRelief Java 2010」では最新の開発環境への対応や、指摘項目を改善するなど、多くのお客様からのご要望を実現。大規模なシステム開発プロジェクトの品質向上を強力にサポートします。

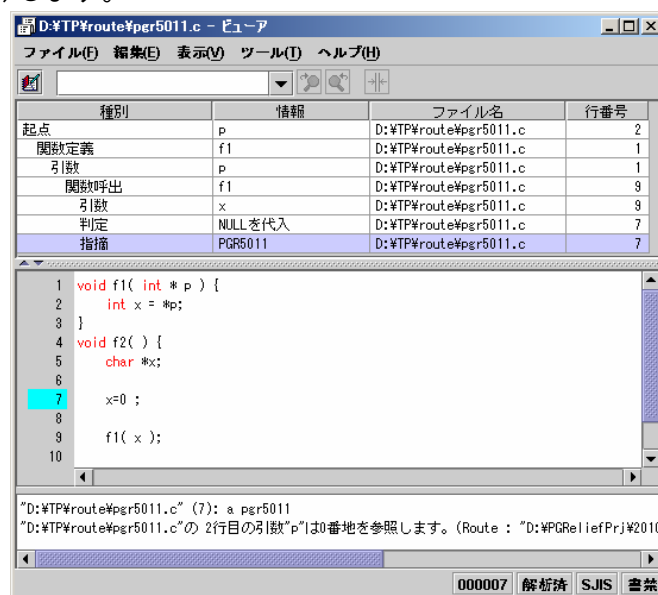
#### 【「PGRelief C/C++ 2010」のエンハンスポイント】

##### 1. 複数開発者のソースプログラム連携部を指摘可能に [PGRelief C/C++ 2010 広域探索オプション]

関数間に潜在していた以下の問題を新たに指摘(\*)します。

- メモリリーク指摘  
領域の獲得／解放を別々の関数で実施していた場合の整合性
- バッファオーバーラン指摘  
他の関数が用意した領域のサイズを超えてアクセスする箇所
- 0番地参照  
パラメタで渡されたアドレスが0である危険性

また、「品質監視オプション」からも「広域探索オプション」の結果を確認できます。これにより問題発生箇所はもちろんのこと、その事象が発生するに至る経緯などを順序立てて検証することができます。



広域探索オプション 画面例

(\*) [広域探索オプション] による関数間での解析は、C 言語で記述されたソースコードのみが対象となります。

## 2. 新たな指摘項目を追加

メンバ変数に対する 0 番地参照、0 除算などの問題を指摘及び、配列などで領域の範囲を超えてアクセスする場合の指摘など、7 個の指摘項目を新たに追加しました。

## 3. 解析プラグインの追加

「VisualStudio2005」で「PGRelief」の解析・結果参照するプラグインを新たに追加しました。

### 【「PGRelief Java 2010」のエンハンスポイント】

新たに連携するツールとして PMD の対応を加えるとともに、最新の開発環境の対応、指摘内容の改善を実施しました。現在お使いの開発環境に、スムーズに組み入れることが可能であり、Java 開発での品質向上を図ることができます。

#### 1. Java最新開発環境に対応

「PGRelief Java」は「Eclipse」のプラグインとして動作。最新版の「Eclipse 3.5.1/3.5.2」に対応しました。

#### 2. 連携ツールを強化

従来から連携している「FindBugs」の最新版、「FindBugs 1.3.9」に対応するとともに、PMD 連携が可能となりました（PMD 4.2.5）。

#### 3. 指摘項目の改善

263 個の指摘項目のうち、チェック対象のメソッドを追加するなど、7 つの指摘精度向上を図りました。

### 【発売・出荷開始時期】

PGRelief C/C++ 2010 : 2010 年 7 月より（予定）

PGRelief Java 2010 : 2010 年 7 月より（予定）

### 【販売目標】

PGRelief C/C++ 2010 : 2,000 ライセンス/2 年

PGRelief Java 2010 : 2,000 ライセンス/2 年

### 【商品体系と価格】

#### 「PGRelief C/C++ 2010」

商品名	価格（税抜き）
ノードロックライセンス	380,000 円
フローティング基本ライセンス	1,200,000 円
フローティング追加 1 ライセンス	940,000 円
品質監視オプション	780,000 円
広域探索オプション（新規商品）	780,000 円

上記以外に、オプション商品、アップグレード&サポートサービスをご用意しております。

### 「PGRelief Java 2010」

商品名	価格（税抜き）
ノードロックライセンス	380,000 円
フローティング基本ライセンス	1,200,000 円
フローティング追加 1 ライセンス	940,000 円
品質監視オプション	780,000 円

上記以外に、オプション商品、アップグレード&サポートサービスをご用意しております。

### 【動作環境】

#### 「PGRelief C/C++ 2010」

CPU		Pentium4 4.2GHz 以上
メモリ		512MB 以上（1GB 以上を推奨。広域探索オプション使用時は 2GB 以上を推奨。）
広域探索オプション	動作 OS	Microsoft Windows 2000 / XP / Vista / 2000Server / Server2003、Red Hat Linux 9
	解析対象	C プログラムのみ

上記以外につきましては、現バージョンとの変更点はございません。

#### 「PGRelief Java 2010」

必須ソフトウェア	1) JDK5.0 (Sun Microsystems 版、富士通版)、JDK6.0 (Sun Microsystems 版) 2) Eclipse3.2.2/3.3.2/3.4.2/3.5.0/3.5.1/3.5.2 または Interstage Studio V9.1/V9.2
----------	---

上記以外につきましては、現バージョンとの変更点はございません。

### 【製品ホームページ】

PGRelief C/C++ 2010 : <http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr/newfunction/>

PGRelief Java 2010 : <http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr-java/>

### 【商標について】

- \* Microsoft、Windows、Windows Vista、Visual C++は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- \* Sun、Java、JDK は Sun Microsystems, Inc. の商標です。
- \* Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc.により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。
- \* その他の記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以 上

<< 本ニュースリリースに関するお問い合わせ先 >>

#### ● 報道関係者のお問い合わせ先

計画部

電話 : 045-475-5611

#### ● 一般の方のお問い合わせ先

インフォメーションセンター

電話 : 0120-052-070 [ 平日9時~12時、13時~17時受付 ]



2010 年 6 月 23 日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ  
ファルコンストア・ジャパン株式会社

## 富士通ソフトウェアテクノロジーズとファルコンストア、 バックアップ/リカバリソフトウェアの販売で提携 ～システムの災害対策に最適なソリューションを提供～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社：横浜市港北区、代表取締役社長 天野 宏)とファルコンストア・ジャパン株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 山中 義晴、以下 ファルコンストア)は、バックアップ/リカバリソフトウェアに関する販売契約を締結いたしました。

これにより、富士通ソフトウェアテクノロジーズは、ファルコンストアの次世代の高速バックアップ/リカバリシステム「FalconStor CDP」を中心としたソフトウェア製品を活用し、災害対策バックアップに関するサービスを 2010 年 6 月 23 日から順次提供いたします。

### 【提携の概要】

企業内の IT 化が進むにしたがい、日々増大するデータ保護や情報システムのディザスタリカバリなど、事業継続に対するソリューションへのニーズが高まっています。また、コスト削減やビジネススピードに迅速に対応できる柔軟性が求められ、企業内の情報システムも多様化してきています。

富士通ソフトウェアテクノロジーズはこれまで、ローエンドシステムには低価格なバックアップ用ソフトウェアを活用し、また、ハイエンドなミッションクリティカルシステムには富士通の高性能・高信頼ストレージ「ETERNUS」を活用した災害対策バックアップソリューションを提供しています。

今回、ファルコンストアの製品ラインを加えることで、ミッドレンジシステムを中心とするソリューションを充実します。また、ファルコンストアの「FalconStor CDP」の特長(※)を活かし、遠隔地へのバックアップ/リカバリソリューションの提供が可能となります。

富士通ソフトウェアテクノロジーズは、ファルコンストアの次世代高速バックアップ/リカバリシステムと富士通のソフトウェア、ハードウェアとを活用したサービスで、顧客提案レベルの向上と対応範囲を拡張いたします。

ファルコンストアは、IT インフラにおける事業継続対策の普及を促進するためには、製品/ソリューションに加えて、コンサルティングや設計段階が重要であると考えています。今回、システム/データのバックアップに関わる技術力や、大手企業向けの提案力の高さが定評があり、コンサルティング、インテグレーション、導入後のサポートをワンストップで提供できる富士通ソフトウェアテクノロジーズを販売パートナーに加えることで、ファルコンストアのバックアップ/リカバリソリューションによる事業継続計画を加速できると期待しています。

### ※ FalconStor CDP の特長

- ・大容量データのバックアップ時間短縮
- ・システムまるごと復元
- ・ネットワーク経由の外部保管(災害対策)

### 【富士通ソフトウェアテクノロジーズについて】

富士通ソフトウェアテクノロジーズは、ITシステム基盤の構築、情報機器のための組込みソフトウェアの開発など、ITシステムを支える技術を持つ専門集団です。長年にわたり、絶対に止まることが許されないミッションクリティカルな大規模、高信頼システムの構築を担ってきた富士通グループ。その中で、お客様の“夢をかたちに”するため、様々なサービスおよびプロダクトを提供し続けています。

### 【FalconStorについて】

FalconStor Software, Inc.（本社：ニューヨーク州 メルビル、NASDAQ: FALC、以下 FalconStor）は、統合バックアップ・プラットフォームのリーディングカンパニーです。ストレージ/ネットワークで豊富な経験と技術力を持つメンバにより2000年に設立され、米Forbesによる2008年度「America's Fastest-Growing Technology Companies」で第5位にランクされました。

FalconStorのソリューションは、ネットワークベースの「IPStor®」仮想ストレージをプラットフォームとして、「Continuous Data Protector™」、「Network Storage Server」、「Virtual Tape Library」などがあります。効率的でインテリジェントなバックアップ機能が特長で、データ保護、ディザスタリカバリ、BCP（事業継続計画）に最適なソリューションとして、国内外の主要大手ハードウェアベンダまたはソリューションプロバイダを通じて、世界中の金融、通信、航空、製造、エネルギー、政府、ヘルスケア、教育など、中小規模からFortune1000企業まで幅広い企業が導入しています。ファルコンストア・ジャパン株式会社は、100%出資子会社として2001年に設立されました。

### 【 関連Webサイト 】

#### ● FalconStorホームページ

<http://www.falconstor.co.jp/>

#### ● 富士通ソフトウェアテクノロジーズ FalconStor紹介ページ：

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/falconstor/>

### 【 商標について 】

- ・本資料に掲載されているシステム名、製品名などには必ずしも（TM、®）を記載しておりません。
- ・その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以 上

<< 本ニュースリリースに関するお問い合わせ先 >>

#### ■ ファルコンストア・ジャパン株式会社

マーケティング担当：関

TEL：03-3556-0211

Email：pr@falconstor.co.jp

#### ■株式会社 富士通ソフトウェアテクノロジーズ

##### ● 報道関係者のお問い合わせ先

計画部

電話：045-475-5611

##### ● 一般の方のお問い合わせ先

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070 [ 平日9時～12時、13時～17時受付 ]

## 管理者権限(特権)を持つ ID の不正を「見える化」するサービスを提供開始 ～ 特権 ID ユーザーによる不正利用の防止対策を万全に ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(代表取締役社長:天野 宏、本社:横浜市港北区)は、ICT システムのセキュリティ統制を強化するソリューションとして、システム管理者権限を保有するユーザー(特権 ID ユーザー)のシステム利用状況を「見える化」するサービスを新規に提供開始します。

本サービスでは、監査対応に必要な特権 ID によるシステム利用状況レポート(監査用レポート)を作成するため、ログデータの収集から、分析/レポート生成するシステムを短期間で構築します。これにより、お客様の監査対応担当者は、わずらわしいログの解析作業から解放され、特権 ID ユーザーによる不正利用の防止対策を万全にいたします。

内部統制対応や ICT インフラのクラウド化が進展するにあたり、企業内の「セキュリティ統制」への対応を効率的に進めることが、情報システム部門にとって重要な課題となっています。また、内部の確信犯による情報漏えい事故が後を絶たないことから、特に特権 ID ユーザーの証跡に注目が集まっており、情報システムにおけるログの保管・管理が重要となっています。加えて、監査法人から特権 ID ユーザーの利用状況を提出(監査用レポート)することが要請されることから、情報システム部門では複数システムの大量のログから、特権 ID ユーザーのシステム利用状況を把握するレポート作成に多くの人手と時間を要しています。

今回、当社が提供するサービスにより、特権 ID ユーザーの証跡を簡単に確認するシステムを短期間で導入することが可能となり、「セキュリティ統制」へ対応業務の効率化を強力にサポートします。

### 【本サービスの特長】

#### 1. 監査用レポート作成コストを大幅に削減

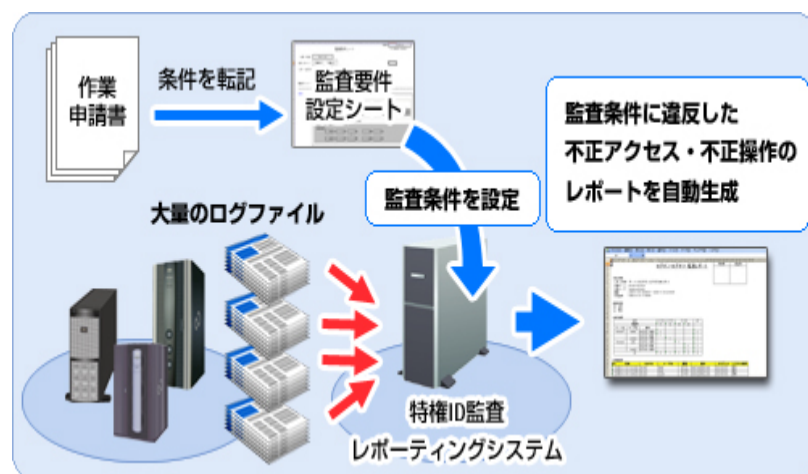
監査条件を基に不正アクセス、不正操作を「見える化」する監査用レポートを自動作成。レポート作成作業を大幅に削減できます。

#### 2. 短期間でレポート生成システム運用をスタート

運用中の対象業務サーバにソフトウェア導入は不要。また、監査の特別な知識が無くてもレポートを作成できる標準的な4種類のレポート(注1)を提供します。そのため、最短で約1カ月後にレポート生成システムの運用をスタートできます。

#### 3. 監査要件に合わせて柔軟にカスタマイズ可能

多くの企業で導入されている主要なセキュリティ統制ツール(注2)のログからレポート作成が可能。対象ツールの追加(注3)や、監査要件にあわせた個別レポートの作成にも柔軟に対応します。



＜レポート生成システム運用イメージ＞

当社は今回、特権IDの監査用レポーティングシステムを構築するサービスの提供に加え、中堅ユーザー向けに短期導入が可能なシングルサインオン(SSO)ツール「AuthONE(オースワン)」をバージョンアップ。ID管理を中心としたセキュリティ統制のソリューションを強化いたしました。

## 【「AuthONE」の強化ポイント】

### 1. 対象業務システムの認証方式を自動解析

シングルサインオン対象とする業務システムの認証方式を自動的に解析し登録する機能を追加。登録対象の業務システムの認証方式を調査する期間が大幅に削減できるようになり、システムを短期間で構築することが可能になります。

### 2. 障害時にも業務継続可能な高信頼システムを実現

認証サーバの冗長構成をサポート(注4)。信頼性の高いシングルサインオンシステムを実現します。

## 【「AuthONE」商品概要】

AuthONE は利用者の「利便性向上」、「セキュリティ強化」、「コスト削減」を実現するシングルサインオンツールです。

既存環境へ手が入らない「アドオン型」で、スムーズな導入とサーバ1台で運用が可能です。また、不正アクセス・情報漏えいのリスクを軽減する効果も併せ持ち、運用の容易さも兼ね備えています。

※「AuthONE」は、富士通の安心安全ソリューション「SafetyValue」に登録されています。

今後の仮想化による業務サーバ統合やクラウドコンピューティングの進展に伴い、ID管理を中心とした認証基盤のソリューションはますます重要となってきます。今後も当社は、お客様のセキュリティ統制業務の効率化を実現するサービスを充実してまいります。

## 【販売価格、および提供時期】

商品名	販売価格(税別)	提供時期
特権ID 監査レポーティングシステム 構築サービス	300万円～(*)	2010年11月末より
AuthONE	300万円～	2010年11月末より

\*: 監査レポート作成に必須のツール(ライブラリ)価格を含む。

## 【販売目標】

・特権ID監査レポーティングシステム構築サービス

2012年度末までに100システム

・AuthONE

2012年度末までに100システム

## 【関連Webサイト】

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/audit-report/> (「特権ID監査レポーティングシステム構築サービス」紹介サイト)

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/authone/> (「AuthONE」紹介サイト)

## 【 注釈 】

(注1) 以下の監査レポートを標準提供

- ・ログオン／ログオフ履歴
- ・特権操作履歴
- ・ファイルアクセス履歴
- ・操作内容

(注2) 対応可能なセキュリティ統制ツール

- ・ID管理:LDAP Manager(Exgen networks社製)
- ・アクセス管理:CA Access Control(CA Technologies社製)  
SHieldWARE(富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ製)

(注3) セキュリティ統制ツールの追加は、オプションサービスで対応。

(注4) OpenLDAPを認証ディレクトリサーバとして採用。

## 【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以 上

### 《報道関係者お問い合わせ先》

計画部

電話:045-475-5611(直通)

### 《お客様お問い合わせ先》

インフォメーションセンター

電話:0120-052-070(平日 9 時～12 時、13 時～17 時 受付)

[ PRESS RELEASE ]

2009年1月22日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 2年連続受賞！Windows Embedded Excellence Award ～マイクロソフト社が最も優れた「Windows Embedded Partner」に認定～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:茅川 敏)は、  
「Microsoft Windows Embedded Excellence Award 2008(注1)」のシステム・インテグレーター部門を受  
賞いたしました。今回の受賞は、2007年に引き続き2年連続となります。

### 【受賞の背景】

当社は、2002年より「Microsoft Windows Embedded Partner(注2)」として東京エレクトロンデバイス株式会社様と協調し、多数のお客様のデバイスへ「Windows Embedded サービス」を提供してまいりました。また、お客様へ最適なサービスを提供するため、当社には Windows Embedded 技術者として最高の栄誉である「Windows Embedded MVP(注3)」認定技術者が4名在籍(国内で最多)しております。2007年には、最優良パートナーの一員として Windows Embedded Gold Partner に認定され、Windows Embedded 技術の研鑽と普及に取り組んでまいりました。

さらに、他の組込み OS から、Windows Embedded へ移行するための「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティングサービス」の提供によって多くのお客様に対して Windows Embedded の提案を行い、Windows Embedded ビジネスの拡大に貢献してまいりました。

今回の「Microsoft Windows Embedded Excellence Award 2008」の受賞は、2007年の受賞に続き2年連続(通算3回目)の栄誉であり、当社の「Windows Embedded サービス」に対する多くの実績と高度な技術力/クオリティを評価されたものです。

今回の受賞を励みに当社は今後もより一層、Windows Embedded ビジネスの拡大に貢献してまいります。

今回の当社の受賞に対し、マイクロソフト株式会社 業務執行役員 OEM 統括本部 OEM エンベデッド本部長 山崎雄彦氏は次のように述べています。

「2年連続の受賞おめでとうございます。富士通ソフトウェアテクノロジーズ様は、日本で最多の4名の Windows Embedded MVPを中心にビジネスを推進されており、携わられたプロジェクトから得られた貴重なノウハウや技術を活かして、昨年一年間で最も多くの Windows Embedded ビジネスの獲得に貢献いただきました。これから一年の成果についても大きな期待を寄せております。ありがとうございます。」

また、東京エレクトロン デバイス株式会社 CN 事業本部 ソフトウェアソリューション事業部 事業部長 池田 隆彦 氏は 次のように述べています。

「富士通ソフトウェアテクノロジーズ様と弊社は、協調して国内のお客様へ Windows Embedded ソリューションをご提供させていただいております。富士通ソフトウェアテクノロジーズ様の高度な開発力と強力なサポートサービスはお客様から高い信頼と評価を頂いており、今回の2年連続・Microsoft Windows Embedded Excellence Award 受賞に繋がったと確信しております。Windows Embedded 製品を中心とした時代をリードするソリューションの提供のため、今後も引き続きご協力させていただきます。」

## 【関連ホームページ】

Microsoft Windows Embedded についての詳細

<http://www.microsoft.com/japan/windows/embedded>

当社の Windows Embedded サービスの詳細

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/embedded-windows/>

## 【商標について】

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 【注釈】

### (注 1) Microsoft Windows Embedded Excellence Award

Windows Embedded に関する高度なサービス・技術をワールドワイドで認められたパートナーへ贈られる称号。

### (注 2) Microsoft Windows Embedded Partner

Microsoft Windows Embedded プラットフォームをベースにした製品、サービス、またはソリューションを提供するシステム・インテグレーター (SI)、独立ソフトウェア・ベンダー (ISV)、独立ハードウェア・ベンダー (IHV)、販売代理店 (VAP)、CPU ベンダー、トレーニング・ベンダーのコミュニティーです。

### (注 3) Windows Embedded MVP

MVP は「Most Valuable Professionals (最も価値ある専門家)」の略。Windows Embedded に関する技術をワールドワイドで認められた技術者へ贈られる称号です。

## お問い合わせ先

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）



[ PRESS RELEASE ]

2009年1月29日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 「組み込みサービス for Android™」の提供を開始 ～Android™を組み込み機器向けのプラットフォームに～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、組み込み機器のプラットフォームとして Android(アンドロイド)の採用を検討されるお客様向けに、「組み込みサービス for Android™」を本日より提供いたします。本サービスと Android により、よりリッチなユーザーインターフェースを持つ組み込み機器や、ネットワーク上のサービスやコンテンツへのアクセスが柔軟に行える組み込み機器の開発を、効率的に行うことが可能となります。

携帯電話、車載システム、情報家電システムなど、高機能化が著しい組み込み機器に対して、Android が新しい組み込みプラットフォームとして活用できることを、本サービスを通じて提示いたします。

近年、組み込みソフトウェアの進歩が、携帯電話、車載システム、情報家電システムなどの組み込み機器の発展を支えています。特に最近では組み込み機器のネットワーク化、マルチメディア化に伴い、従来の RTOS(注 1)よりも、高度な汎用組み込み OS を採用するケースが増えています。また、組み込み機器の開発では、高機能化や増加するソースコードへの対応、および市場への投入期間の短縮が求められる上に、高度で使いやすいユーザーインターフェースも重要視されています。

当社では日本国内でいち早く Android の可能性に着目し、フリースケール・セミコンダクタ社製 i.MX アプリケーション・プロセッサ上にポータリングし、2008 年 11 月開催の組み込み総合技術展(Embedded Technology 2008)での参考出品を実現しました。

このたび当社は、これまでの組み込み機器の開発経験を活かし、お客様の機器に新しいプラットフォームとして Android をご提案するとともに、「組み込みサービス for Android™」をご提供いたします。本サービスでは、お客様での機器開発に際し、新しいユーザーインターフェースの実現方法や、様々なネットワークサービスへのアクセス方法のご提案など、Android を活用した機器開発をトータルにサポートいたします。本サービスにより、お客様の機器開発のトータルコスト低減、および市場への投入期間短縮化などの効果が期待できます。

今後も当社は最高の組み込み技術をベースにお客様のご要望にお応えし、品質・コスト・納期を追求した組み込みシステム開発をお約束します。

今回のサービス開始にあたり当社では、Android をテーマにしたセミナーを開催いたします。どうぞご参加ください。(後述参照)

### 【サービスの概要】

「組み込み Linux」、「Android」に精通したエンジニアが、お客様の組み込み機器開発に対して、様々な角度からお手伝いいたします。

お客様が Android を調査・検討される工程では、当社エンジニアがお客様のご要件・ご要求から Android の適切な利用方法を提案し、既存の資産がある場合にはスムーズな移行方法を提示いたします。また、お客様、特にエンジニアの皆様に、Android をご理解いただくためのトレーニングサービスをご提供いたします。

開発工程においては、「組み込み Linux」で培った技術、Android の高度なユーザーインターフェースおよびクラウドサービスやコンテンツへのアクセス機能を組み合わせ、お客様のハードウェアに適したプラットフォームの開発を行います。

## 【サービスメニュー概要】

### コンサルティング・サポートサービス

お客様のご要件・ご要望に応じた内容で Android の特長を活かしてのコンサルティングをはじめ、従来プラットフォームから Android へのスムーズな移行方法をご提案いたします。また、お客様の疑問点・不明点などのお問い合わせに対して、メール・電話による Q&A 形式でのサポート、お客様のご指定場所にお伺いしオンサイトでの技術サポートなどのサービスをご提供いたします。

### トレーニングサービス

エンジニアの皆様にも、Android を組み込みプラットフォームとしてご理解頂くためのトレーニングサービスをご提供いたします。

### エンジニアリングサービス

お客様の組み込み機器への Linux、Android のポーティングをはじめ、ブートローダー、カスタムドライバ、および、アプリケーションなど、様々なソフトウェアの開発サービスをご提供いたします。

### ミドルウェア組み込みサービス

富士通汎用組み込みミドルウェア『Inspirium』シリーズやオープン・ソース・ソフトウェアなどの各種ミドルウェアを、お客様の組み込み機器向けにポーティング、カスタマイズするサービスをご提供いたします。

## 【サービス費用】

個別見積り

## 【各社様からのコメント】

今回の発表に際し、東京エレクトロン デバイス株式会社 EC 事業本部 Comm&CE 事業部 事業部長 大崎 正之 氏は次のように述べています。

「富士通ソフトウェアテクノロジーズ様と弊社は、国内のお客様への組み込みソリューション提供において、協調してビジネス展開をさせていただいております。このたび発表されました「組み込みサービス for Android™」と、Android に最適なフリースケール・セミコンダクタ社製プロセッサを搭載した弊社の評価ボードの組み合わせにより、組み込み機器の開発においてハードウェアからソフトウェアまで一貫したサービスの提供が可能となります。今後も高い技術ソリューション提供を継続され、お客様の製品開発を強力にサポートいただけるものと期待しております。」

また、フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社のマーケティング本部 ジェネラル・マネージャ 伊南 恒志 氏は次のように述べています。

「産業、コンシューマ、ポータブル・メディア機器の市場では、マルチメディアやネットワーク対応の高性能なソリューションが求められています。フリースケールの i.MX27、または i.MX31 アプリケーション・プロセッサのプラットフォームにおける富士通ソフトウェアテクノロジーズ社の「組み込みサービス for Android™」によって、我々のお客様は短期間での開発が可能となり、製品の迅速かつタイムリーな市場投入に大きく貢献できると確信しています。」

また、リネオソリューションズ株式会社の代表取締役 二木健至氏は次のように述べています。

「リネオは、組み込み市場において、プラットフォームとして Linux が広まることを目指しています。携帯電話以外に Android の利用を広げる「組み込みサービス for Android™」において、リネオはそのベースとなる Linux の領域で、開発環境群や高速起動ソリューションなどの製品やサービスを提供してまいります。これにより開発者は、高品質で最適化された Linux 環境を実装いただけるようになるでしょう。」

## 【セミナーのご案内】

### (1)組込み Android セミナー

主催：富士通ソフトウェアテクノロジーズ

日時：2009 年 2 月 27 日（金） 13:30～16:30

場所：富士通株式会社 Enterprise Innovation Support Center

（エンタープライズイノベーションサポートセンター）（浜松町）

詳細と参加のお申し込みは以下 URL をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/fst/events/2009/android-seminar.html>

### (2) TED ソリューション 세미나 2009 (Android 編)

主催：東京エレクトロン デバイス株式会社

日時：2009 年 2 月 10 日（火） 14:30～16:30

場所：横浜市開港記念会館

本セミナーに当社技術者が講師として登壇し、『Android、プラットフォームとしての可能性』と題してセミナーを実施いたします。

詳細は、下記 URL をご参照ください。

[http://www.teldevice.co.jp/product/seminar/ted\\_solution\\_android/index.html](http://www.teldevice.co.jp/product/seminar/ted_solution_android/index.html)

## 【関連ホームページ】

- ・当社「組込みサービス for Android™」の詳細

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/embedded-android>

- ・Android についての詳細

<http://code.google.com/intl/ja/android/>

## 【商標について】

“Android”は Google Inc.の登録商標です。

Android is a trademark of Google Inc. Use of this trademark is subject to Google Permissions.

その他記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 【注釈】

（注1）RTOS(Real-time Operating System)

処理をリアルタイムに実行することを重視し、そのための機能を実装したOSのこと。

## 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）

[ PRESS RELEASE ]

2009年3月5日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジー

**「NavigStage」がベストブレイク賞受賞  
～「ASP・SaaS・ICT アウトソーシングアワード 2009」～**

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジー(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、当社のeラーニングアウトソーシングサービス「NavigStage(ナビステージ)」が、「特定非営利活動法人ASP・SaaS インダストリ・コンソーシアム」(略称:ASPIC、東京都品川区)主催の「ASP・SaaS・ICT アウトソーシングアワード 2009」ASP・SaaS 部門において、**ベストブレイク賞**を受賞しました。  
ベストブレイク賞とは、売上高、ライセンス数、伸び率が優れているサービスに贈られる賞となります。

本アワードは、拡大するASP・SaaS・ICT アウトソーシング市場において、これらのサービスやビジネスモデル、技術が社会の情報基盤として貢献するため、また各事業経営者、営業・企画・技術者の意欲向上を目的として開催されております。

ASP・SaaS 部門では137社(152サービス)の応募があり、各分野の有識者から構成された委員会に評価・選定いただきました。



「NavigStage」は、eラーニングにかかわるシステムの運用を代行するeラーニングのアウトソーシングサービスです。サービス提供開始以来、その機能性と価格面において、お客様の要件に柔軟に対応するサービスとして、多くのお客様からご支持をいただいております。

特にこの1年で、売上げ累計が約2倍、ライセンス数が5倍以上に急成長した点が高く評価され、ベストブレイク賞を受賞することができました。

**【関連ホームページ】**

・ASPIC アワード「ASP・SaaS・ICT アウトソーシングアワード 2009」

<http://www.aspicjapan.org/activity/project/index.html>

・当社「NavigStage」の詳細

<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/navigstage/>

**《お問い合わせ先》**

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジー

インフォメーションセンター

電話:0120-052-070(平日9時～12時、13時～17時受付)

[ PRESS RELEASE ]

2009年3月17日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## Android™にも対応 — DLNA ワンストップサービスの提供を開始 ～ 企画段階から開発支援、DLNA ロゴ認定、サポートまで ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、DLNA(注1)ガイドラインに対応した機器を開発するメーカー向けに、「DLNA ワンストップサービス」を本日より提供いたします。本サービスでは、家電、デジタル AV 機器やモバイル機器などの DLNA 対応機器の開発企画段階でのコンサルティングを始め、実績あるミドルウェアの提供、機器の動作検証、サポートに至るまで、組込み機器開発に必要な作業をサービスメニュー化し、ご提供することで、開発期間の短縮、コスト削減を実現いたします。

近年、家庭内には様々な情報家電機器やパソコンがネットワークに接続され、これに伴って、組込み機器においてもコンテンツの表示、再生を実現する DLNA 対応の要求が高まっています。これまで DLNA 対応機器を開発するには、様々な要求を満たすハードウェア、ソフトウェアを選定するために多くの時間を費やしてきました。また、DLNA ロゴ認定に必要なノウハウの習得や検証作業に多くの工数が必要となります。

今回当社は、ハードウェア、ソフトウェア一体のご提案と DLNA ロゴ認定のノウハウを生かした「DLNA ワンストップサービス」を提供し、お客様の組込み機器開発における期間短縮・工数削減に貢献します。

### 【サービスの概要】

情報家電機器に採用される様々な組込み OS と DLNA に精通した当社エンジニアが、お客様の組込み機器開発に対して、企画・開発・検証・認定の全ての工程をお手伝いいたします。

- ・仕様検討の工程では、お客様のご要件にもとづいた仕様のご提案や実績あるハードウェア、ソフトウェアのご提案により、お客様での DLNA 対応機器の最適な設計をご支援いたします。
- ・開発の工程では、OS のポーティングやカスタマイズ、DLNA プロトコルスタックのポーティング及びアプリケーション開発などを実施し、高品質なシステム開発をご支援いたします。
- ・検証、認定の工程では、DLNA ロゴ認定のノウハウを持つ当社が、日本国内唯一の DLNA ロゴ認定機関である株式会社エクスカル(本社:横浜市、代表取締役社長:朱雀二郎)と連携して、事前検証、DLNA ロゴ認定試験を行うことで、スムーズなロゴ認定取得をご支援いたします。

また、本サービスでは、現在注目されている Android を情報家電分野に適用する場合にも同様に DLNA プロトコルスタックの提供や、Android 上のアプリケーションと接続するインターフェースの設計、開発などをお手伝いいたします。

今後も当社は最高の組込み技術をベースにお客様の要望にお応えし、品質・コスト・納期を追求した組込みシステム開発をお約束いたします。

## 【サービスメニュー概要】

お客様の製品開発期間を短縮するため、既に実績あるソリューションとして、ハードウェアはスタンダードマイクロシステムズ株式会社(本社:品川区、代表取締役社長:鈴木康夫)の LAN9131(注 2)、ソフトウェアは Inspirium HomeNetwork ライブラリ for AV(注 3)を推奨構成としてご提案いたします。

### コンサルティングサービス

情報家電機器向けに OS、プラットフォームの選択や設計、DLNA ロゴ認定試験、接続互換性試験まで様々な側面から当社ノウハウをご提供いたします。

### エンジニアリングサービス

お客様の組込み機器への Linux、Android などの OS ポーティングをはじめ、様々なソフトウェアの開発サービスをご提供いたします。

- ・OS のポーティング、カスタマイズ
- ・DLNA プロトコルスタックのポーティング
- ・DLNA 対応アプリケーションの開発

### 検証サービス

開発した組込み機器の検証を実施すると共に、DLNA ロゴ認定を支援いたします。

- ・CTT(Conformance Test Tool)をベースとした事前検証の実施
- ・DLNA ロゴ認定プログラムのご提供
- ・DLNA 製品との接続互換性検証のご提供

### サポートサービス

電話、e-mail での DLNA に関する技術的なお問合せ、およびプロトコル解析による障害調査のお問合せに対応いたします。

## 【サービス費用】

個別見積り

## 【各社様からのコメント】

### ・スタンダードマイクロシステムズ株式会社

コネクティビティソリューション事業部 ビジネスデベロップメント マネージャ 菅波憲一氏

DLNA ワンストップサービスはこれまで多くのお客様に望まれ、弊社の課題としていた DLNA を実現するためのハードウェア、ソフトウェアの統合提案を実現しています。これにより、お客様はハードウェア、ソフトウェアの個々の評価、選定に伴うリスクを全て解消し、且つ開発期間を飛躍的に短縮することができます。DLNA ワンストップサービスは DLNA を実現する上でのトータルソリューションといえます。

### ・株式会社エクスカル 営業統括部 統括部長 大谷英之氏

この度、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ様と、現在最も注目されている DLNA(Digital Living Network Alliance)規格関連事業におきましてアライアンスを実施させていただくことは大変有意義な事と理解しております。お客様におかれましてはワンストップサービスをご利用されることにより、開発速度の加速によるコスト低減、製品品質の向上が可能となります。

株式会社エクスカルでは日本国内唯一のロゴ認定機関として検証の側面より全面的に協力をさせていただきます。

## 【関連ホームページ】

- ・富士通ソフトウェアテクノロジーズ「DLNA ワンストップサービス」詳細

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/dlna/>

- ・スタンダードマイクロシステムズ株式会社

<http://www.smsc.jp/>

- ・株式会社エクスカル

<http://www.xxcal.co.jp/>

## 【商標について】

Android は、Google Inc.の登録商標です。Android is a trademark of Google Inc. Use of this trademark is subject to Google Permissions.

SMSC は、米国法人 Standard Microsystems Corporation の登録商標です。

## 【注釈】

注1)DLNA(Digital Living Network Alliance)

パソコンや情報家電機器をネットワークで相互につなぐ際の約束事を取り決める団体であり、ガイドラインです。

注2)LAN9131

スタンダードマイクロシステムズ株式会社の『LAN9131』は、HDストリーミングの高速転送と、ソフトウェアによるプロトコルスタック、著作権保護機能を組み合わせた商品です。ハードウェアとして、暗号・復号エンジンを搭載しているので、メインSoCを煩わすことなく、DTCP-IP規格の実現ができます。

注3)Inspirium

富士通株式会社が開発した汎用組込みミドルウェアです。

## 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）



[ PRESS RELEASE ]

2009年4月21日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

『第 12 回 組込みシステム開発技術展』に  
Windows® Embedded CE 向け高速起動技術を参考出展  
～最大 50%の起動時間短縮も～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、Windows® Embedded CE 機器向け「Windows® Embedded CE 高速起動技術」を第 12 回組込みシステム開発技術展に参考出展します。Windows® Embedded CE を採用した組込み機器では、起動時間が重要視されます。当社は、これまでの経験と知識を組み合わせた起動時間短縮技術により、お客様が開発する Windows® Embedded CE 機器のユーザビリティの向上を実現いたします。

Windows® Embedded CE は、デジタルコンシューマ、ファクトリーオートメーション、および、オフィスなど様々な分野において、組込み機器への採用が増えています。当社は、組込み機器開発時に、企画設計からデバイス開発といった取り組みでお客様を強力に支援する「Windows Embedded サービス」に取り組んでまいりました。

その中で当社では、お客様からの「高速起動」のご要望の高まりを受け、それにお応えする実施例を第 12 回組込みシステム開発技術展(ESEC2009)に参考出展します。

この実施例は、当社のこれまでの組込み開発経験と知識を組み合わせ実現したもので、組込み機器の OS 起動時間を大幅に短縮することができる技術です。

【展示内容の概要】

次の2つの技術を利用したデモシステムを展示いたします。

●ハイバネートブート技術

Windows® Embedded CE 動作中のメモリを記憶し、次回起動時に通常の起動シーケンスを通さず実行中の状態を復元する等の方式を用いた当社の技術です。本技術により、最大 50%の起動時間短縮を実現しました。

●パラレルブート技術

Windows® Embedded CE の起動処理において、初期化処理を最適化し並列実行させ、CPU を最大限利用する方式を用いた当社の技術です。本技術により、最大 28%の起動時間短縮を実現しました。

【動作・対応条件(予定)】

●CPU アーキテクチャ

ARM コア全般

x86/IA については今後対応予定

●オペレーティングシステム

Microsoft® Windows® CE 5.0

Microsoft® Windows® Embedded CE 6.0 R2

## 【出展展示会概要】

展示会名：第 12 回組込みシステム開発技術展（ESEC2009）

会期：2009 年 5 月 13 日（水曜日）～5 月 15 日（金曜日）

会場：東京ビッグサイト

本技術の展示ブース：マイクロソフト社ブース（東 43-26）

詳細情報：<http://jp.fujitsu.com/group/fst/events/2009/esec.html>

## 【各社様からのコメント】

### ・東京エレクトロ デバイス株式会社

#### 取締役 CN 事業統括本部 統括本部長 天野 勝之氏のコメント

富士通ソフトウェアテクノロジーズ様と弊社は、協調して国内のお客様へ Windows® Embedded ソリューションをご提供させていただいており、富士通ソフトウェアテクノロジーズ様の高度な開発力と強力なサポートサービスは高い信頼と評価を得られています。

この Windows® CE 高速起動はお客様からも望む声が多く挙がっている技術であり、市場の期待に応えるソリューションであると確信しております。

弊社は Windows® Embedded 製品を中心とした時代をリードするソリューションの提供のため、今後も引き続きご協力させていただきます。

### ・マイクロソフト株式会社

#### 業務執行役員 OEM 統括本部 OEM エンベデッド本部長 山崎雄彦氏のコメント

Windows® Embedded CE 6.0 ならびに Windows® CE 5.0 の高速起動技術のご発表おめでとうございます。今回発表された技術は、高機能な OS でありながら、これらハイバネートブート、パラレルブート技術を組み合わせることで、システムの起動時間を短縮し、日本のお客様の要求される快適なシステムの実現のための重要な技術です。富士通ソフトウェアテクノロジーズ様の高度な組み込み技術とそれを活かすノウハウによって、より多くのお客様に Windows® Embedded CE をお使いいただくことができると確信しております。

### ・菱洋エレクトロ株式会社

#### システム情報機器営業第 1 本部 副本部長 田辺 正昭氏のコメント

弊社は、マイクロソフト Windows® Embedded 製品の正規代理店として、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ様とサービス、サポート面に関する業務提携を結び、ビジネスの拡大、推進を図っております。今回発表となりました Windows® CE の高速起動技術は多くの客先が待望していた技術であり、CE を搭載した製品のポテンシャルとコストパフォーマンスを高め、生産性と時間の価値を飛躍的に向上出来るものと確信しています。今後も株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ様と協力、連携を強化し、今までに増してお客様への価値提供に向けてより一層のサービス向上を図って参ります。

## 【商標について】

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）

2009年5月11日

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## Java 向けコード解析ツールの新製品『PGRelief Java 2009』を発表

～ C/C++版も機能を強化し、速度が 5 倍に～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(代表取締役社長: 芋川 敏、本社: 横浜市港北区)は、「PGRelief(ピージーリリーフ)」のJavaソースプログラム向けバージョン「PGRelief Java 2009」を新たに開発し、7月より販売を開始します。

本ツールは、C/C++ソースプログラム向けで700社以上に導入されている「PGRelief」のノウハウを受け継いだ製品です。Javaプログラムが多用されるエンタープライズ市場でのトップシェアを目指して拡販してまいります。さらに組込み市場においてもAndroid™の登場等によりJava使用の広がりを見せており、本ツールの普及を目指します。コーディング工程で、問題点を早期に洗い出すことにより、品質向上と工数削減を同時に実現できるツールとして、自信をもってリリースする新製品です。

好評をいただいております「PGRelief C/C++版」も処理速度および機能を改善し、7月にアップグレード版をリリースします。

近年、システム開発の現場では、コスト削減・納期短縮の要望と、品質向上に対する要求が厳しさを増しています。この相反する課題を「PGRelief」が解決いたします。

「PGRelief Java 2009」は、ソースプログラムを多角的に静的解析することにより、欠陥を指摘し、解決策を的確に提示します。すなわちコーディング→デバッグ→評価・テスト→保守と続く工程の中、コーディングの段階で問題点を早期に見つけ出し修正することにより、後工程になるほど手間やコストのかかる修正作業の削減を実現します。また、開発段階では発見しづらいセキュリティ脆弱性なども的確に指摘することで、より品質の高いシステムで、より短い納期での構築に貢献します。

「PGRelief C/C++ 2009」では、解析エンジンの強化や新コマンドの提供により、ツール運用時の負荷を軽減します。また、ソース/プロジェクトごとに品質/問題/文法の3つの特性により解析結果を集計する機能を追加。これによりソフトウェアの品質向上を組織的に推進することが可能となります。

なお、両製品は5月13日(水曜日)から15日(金曜日)まで、東京ビッグサイトにて開催される「組込みシステム開発技術展」に出展します。

### 【 PGRelief Java 2009 の特長 】

#### 1. プログラム欠陥(バグ、性能)やセキュリティ脆弱性を的確に指摘

富士通のJava開発標準規約やSunコーディング規約などをベースに、独自のノウハウをプラス。ロジック上のバグはもちろん、バグを誘発しやすい記述や、セキュリティ脆弱性の指摘など、さまざまな観点からプログラムの欠陥を検出し、ソフトウェアの品質向上を実現します。また、プロジェクトに合わせた標準コーディング規約の作成支援も行います。

#### < 指摘項目 >

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| ・信頼性 45件  | : 複雑な制御構造などのバグ誘発記述を検出。 |
| ・保守性 153件 | : 命名規約などに関する違反を検出。     |
| ・効率性 50件  | : 性能劣化の原因となる記述を検出。     |
| ・機能性 12件  | : セキュリティ脆弱性に関する記述を検出。  |
| ・移植性 3件   | : OS依存コードなどの移植上の問題を検出。 |

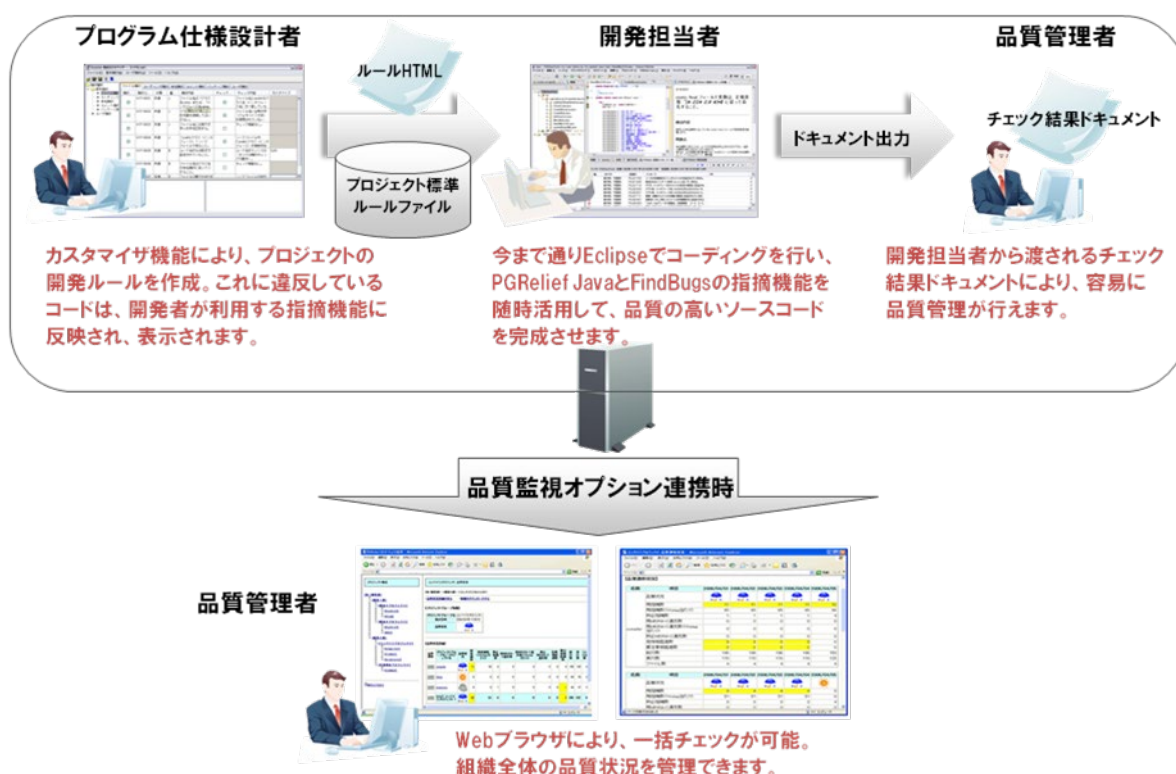
## 2. Eclipseのプラグインとして提供。FindBugsと連携。カスタマイズでユーザ独自のルール設定が可能

「PGRelief Java 2009」はJavaの主流の開発環境であるEclipseのプラグインとして「指摘機能」「レビュー支援機能」を提供します。「カスタマイズ機能」でプロジェクト管理者が作成したコーディング規約を基準とし、規約違反をチェックします。また、FindBugs(バグを指摘するソフトウェア)と連携し、「PGRelief Java 2009」とFindBugsの指摘結果をマージして表示します。使い慣れた開発環境はそのままに、「PGRelief Java 2009」の優れた機能を存分にご活用いただけます。

## 3. 品質の「見える化」を実現(構成管理ツール連携:品質監視オプション)

構成管理ツールに登録されたソースプログラムを「PGRelief Java 2009」が一括解析します。解析結果をWebブラウザでプロジェクト全体に公開できますので、開発担当者はコーディングしたソースプログラムを構成管理ツールに登録するだけとなり、新たな作業は発生しません。また、プログラマー別、チーム別、プロジェクト別に開発中のプログラムの品質状況を一目で把握することができます。

### 推奨運用方法(品質監視オプション必須)



## 【 PGRelief C/C++ 2009 のエンハンスポイント 】

### 1. 解析時間を短縮

解析エンジンを強化し、解析時間を短縮する機能を追加しました。これにより解析時間を従来製品より大幅に削減できます。運用方法により異なりますが、短縮する機能をすべて適用することで、従来と比べ5倍の速さとなります。(解析時間の速さは、単ファイル解析時のみ)。

### 2. 環境構築を容易に

コンパイラコマンドパラメタから、解析に必要なオプションを自動抽出し、解析を行う新コマンドを提供します。一連のコンパイル作業が定義されている環境でご利用頂くと効果的です。また、解析結果をGUI画面で確認することができます。

### 3. 品質特性を集計(品質監視オプション)

従来の集計表示に加え、新たに次の3つの特性ごとに解析結果を集計表示できます。

- ・品質特性(信頼性、保守性、移植性、効率性、機能性)
- ・問題特性(初期化漏れ、メモリ操作誤り、情報欠落、性能劣化、保守性低下など)
- ・文法特性(型、式、文、宣言・定義、スタイル、例外、テンプレートなど)

今般、上記エンハンス以外にも、指摘の追加、ビューア(GUI)の改善などの機能追加を行っています。

#### 【発売開始時期】

PGRelief Java 2009 : 2009 年 7 月より(予定)

PGRelief C/C++ 2009 : 2009 年 7 月より(予定)

#### 【販売目標】

PGRelief Java : 2,000 ライセンス/2 年

#### 【商品体系と価格】

##### PGRelief Java 2009

商品名	価格(税抜き)
ノードロックライセンス	380,000 円
フローティング基本ライセンス	1,200,000 円
フローティング追加1ライセンス	940,000 円
品質監視オプション	780,000 円

上記以外に、オプション商品、サポートサービス商品をご用意しております。

##### PGRelief C/C++ 2009

現バージョンとの変更点はございません。

#### 【動作環境】

##### PGRelief Java

対応 OS	Windows XP SP2 以降、Windows Vista
必須ソフトウェア	・JDK 5.0 以降(Sun Microsystems 版) ・Eclipse 3.2.2、3.3.2、3.4.2
メモリ	256MB 以上(512MB 以上を推奨)
解析対象	・JDK 1.4、5.0、6.0 に準拠した Java プログラム ・解析ファイルのコード系 MS932、UTF-8

##### PGRelief C/C++

現バージョンとの変更点はございません。

#### 【製品ホームページ】

PGRelief Java 2009 <http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr-java/>

PGRelief C/C++ 2009 <http://jp.fujitsu.com/fst/services/pgr/newfunction/>

### 【商標について】

- \* Microsoft、Windows、Windows Vista、Visual C++は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- \* Sun、Java、JDK は Sun Microsystems, Inc.の商標です。
- \* Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc.により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。
- \* “Android”は Google Inc.の登録商標です。

Android is a trademark of Google Inc. Use of this trademark is subject to Google Permissions.

その他の記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

### 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話:0120-052-070(平日9時～12時、13時～17時)



[ PRESS RELEASE ]

2009年5月12日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## デジタルフォトフレームや通信型カーナビにも Android™ を ～『第 12 回 組込みシステム開発技術展』でご紹介～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、プラットフォームに Android™を活用して実現した組込み機器、「DLNA 対応デジタルフォトフレーム」と「ネットワーク通信型カーナビゲーション」の開発例を、第 12 回 組込みシステム開発技術展でご紹介します。

拡大する組込み機器市場に向け、ユーザエクスペリエンスやネットワーク通信機能に優れた Android と既存製品を組み合わせることで、新しい組込み機器の可能性をご提案します。

また、Android アプリケーションなど Java 言語で記述されたプログラムの品質向上を支援するツール「PGRelief Java 2009」を使った、プログラム品質向上のデモンストレーション展示を行います。

Android™は、携帯電話向けのプラットフォームとして発表されて以降、組込み一般機器向けのプラットフォームとしても大きく注目されています。

当社では、Android を組込み一般機器向けに採用した実装例、および Android 上アプリケーションの開発生産性・品質向上を図るツールをご紹介します。

### 【展示内容1】DLNA 対応デジタルフォトフレーム

Android のネットワーク通信機能を活かし、ホームネットワークとクラウドサービスに接続された新しいデジタルフォトフレームの開発例を展示いたします。

拡大するデジタルフォトフレーム市場に向けて、DLNA によるホームネットワークへの接続と、Android 自身が持つクラウドサービスへの接続によって、ホームネットワーク、およびインターネットの両コンテンツにアクセスすることができるデジタルフォトフレームをご提案いたします。

### 【展示内容2】ネットワーク通信型カーナビゲーションデバイス

Android のクラウドサービスの活用によってネットワークに接続された新しいタイプのカーナビゲーションデバイスの開発例を展示いたします。

カーナビゲーションデバイスの普及率の増加に合わせてポータブルナビゲーションデバイス(PND)市場も急速に拡大している現在、通信インフラに接続されたデバイスの可能性が見えてきています。Android をプラットフォームとして利用することで新しいサービス・デバイスの可能性をご提案いたします。

### 【展示内容3】品質向上支援ツール『PGRelief Java 2009』

ソースプログラムの静的解析によりプログラムの欠陥を指摘し、開発生産性と品質の向上を支援する当社製品『PGRelief Java 2009』のデモンストレーションを行います。

組込み機器での Android の採用により、システムに搭載されるプログラムの増大や高機能化が予想されます。当社は、このような組込み機器向けの Android アプリケーション開発作業に対して「PGRelief Java 2009」により、プログラムの品質向上と短期開発をご提案いたします。



## 【展示物構成・概要】

### ◆デジタルフォトフレーム

株式会社マクニカの「MARBO PictImpact」を Android と組み合わせることで、多様な効果を持った魅力的なデジタルフォトフレームデバイスを短期間で実現。さらにデバイスの魅力度あげるために、富士通株式会社の「Inspirium HomeNetwork ライブラリ for AV」による DLNA プロトコルスタックを利用し、写真データのネットワーク上での共有を実現しました。

#### ハードウェア

- ・米 Marvell 社: Zylonite(PXA 310)

[http://www.marvell.com/products/cellular/application/PXA3xx\\_series.jsp#pxa310](http://www.marvell.com/products/cellular/application/PXA3xx_series.jsp#pxa310)

#### ミドルウェア

- ・株式会社マクニカ: MARBO PictImpact™ ～静止画スライドショー用組込みミドルウェア～

<http://mssp.macnica.co.jp/products/mbpi/>

- ・富士通株式会社: Inspirium HomeNetwork ライブラリ for AV

<http://edevic.fujitsu.com/jp/products/embedded/products/homenetwork/>

#### サービス

- ・当社: 組込みサービス for Android™

<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/embedded-android/>

- ・当社: DLNA ワンストップサービス

<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/dlna/>

### ◆カーナビゲーションデバイス

インクリメントP株式会社の「地図サーバ・経路計算サーバ」を Android から利用することで、Android のネットワーク親和性と高度なユーザインターフェースを体感できるネットワーク通信型のカーナビゲーションを実現しました。

#### 地図サービス

- ・インクリメントP株式会社: 地図サーバ・経路計算サーバ

<http://www.incrementp.co.jp/>

#### ハードウェア

- ・株式会社アットマークテクノ: Armadillo-500FX

<http://www.atmark-techno.com/products/armadillo/a500fx>

#### ミドルウェア

- ・富士通株式会社: Inspirium 音声合成ライブラリ

<http://edevic.fujitsu.com/jp/products/embedded/products/synthesis/>

#### サービス

- ・当社: 組込みサービス for Android™

<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/embedded-android/>

### ◆PGRelief Java 2009

サンプルソースコードを用い、実際にツールで検出される指摘のご紹介や、コーディング規約の作成手順などをご紹介します。

[ PRESS RELEASE ]

2009年5月18日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## こころの健康診断に、組織の健康診断を強化

～ 職業性ストレス簡易診断システム「e診断@心の健康」新バージョン発売 ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)はこのほど、職場のメンタルヘルス対策を支援する「職業性ストレス簡易診断システム『e診断@心の健康』」の新バージョンを開発し、6月15日より販売を開始いたします。

本製品は、厚生労働省「平成11年度作業関連疾患の予防に関する研究成果」の「職業性ストレス簡易調査票」との組み合わせでストレス対策から組織活性化対策まで使える初めてのシステムです。

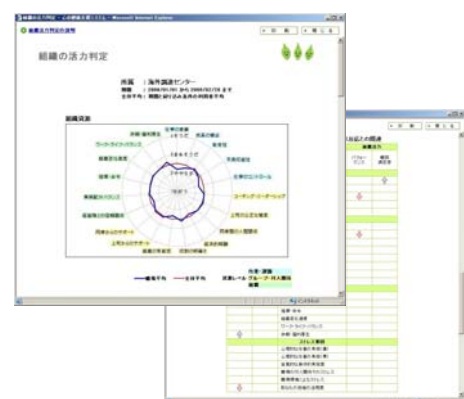
近年の職場のメンタルヘルス対策においては健康の保持増進を目的とした第一次予防への関心が高まっていますが、心身の不調(ストレス反応)や不調につながる様々なストレスの評価に加えて、組織におけるポジティブ(プラス指向)な状態やその促進に関連のある要因を評価することも重要になってきました。

今回当社は、東京大学大学院医学系研究科との産学共同研究により、従来のストレス状態を測る機能に加え、組織のポジティブな状態やその促進に関連のある要因を評価し、ストレス対策とあわせて組織の活性化対策を支援する「e診断@心の健康 バージョン5」を開発いたしました。本製品の利用により、メンタルヘルスリスクへの第一次予防のみならず、活力ある職場作りにお役立ていただけます。

### 【 機能強化ポイント 】

#### 1. 活力のある職場づくり対策を支援する、組織の健康調査機能を提供

「職業性ストレス簡易調査票」(注1)によるストレス診断と「組織活力調査票(ACTIVE)」(注2)による組織活力診断を組み合わせ、組織の総合健康度を複合的な視点から把握することができます。「疲弊状態にある組織」、「モチベーションが低い組織」などの状態を示すとともに、職場での作業、対人関係、組織などの要因と仕事のパフォーマンス(業務遂行における能力活用度や効率性)との関連を示すことで、強みを活かす対策や弱み分野の改善など、活力ある職場作りへの具体的対策の実施に役立てることができます。



#### 2. 高ストレス状態の人への早期ケア実施を支援する、スタッフへ自動通知機能を提供

ケアを必要とするストレス状態をあらかじめ定義しておくことで、その状態に該当する受診者がいた場合に、安全衛生スタッフあてに受診情報が自動的に通知されます。ケアを必要とする対象者を調べる手間を軽減するとともに抽出漏れを防止し、高いストレスを抱えている人への早期ケア実施を支援します。(注3)

### 3. 個人と組織の活性化スキル習得のための教材を追加（2009 年 9 月提供予定）

個人のストレス対処スキルから日々の業務遂行に関する技能（コミュニケーション、仕事の効率等）までを幅広く扱った実践的なeラーニング教材を東京大学大学院医学系研究科と産学共同で開発。「感情のコントロール」、「パフォーマンスの向上」、ならびに「対人関係能力の向上」の 3 つの側面から学ぶことができ、個人と組織の活性化のためのスキルを身につけることができます。

#### 【 提供形態・価格 】

使用対象人数と使用期間に応じた価格です。（例）使用対象人数が 1,000 人の場合の価格

利用形態	販売価格（税別）	利用期間	提供開始時期
パッケージ版	1,000,000 円	制限なし	2009 年 6 月 15 日
アウトソーシングサービス	500,000 円	2ヶ月	2009 年 9 月 予定

#### 【 販売目標 】

500,000 ライセンス／1年間

#### 【 動作環境（パッケージ版） 】

##### 1. サーバ

- ・ 動作OS : Windows Server 2003 / 2008
- ・ データベース : SQL Server 2005 / 2008 日本語版（データベースに SQL Server を使用する場合）

##### 2. クライアント

- ・ 動作OS : Windows XP / Vista
- ・ ブラウザ : Internet Explorer 6.0SP1 / 6.0SP2 / 7.0 , Mozilla FireFox3.0

#### 【 これからの展示会・セミナーについて 】

- ・ 第 82 回日本産業衛生学会 : 5 月 20 日～22 日 福岡国際会議場
- ・ ヒューマンキャピタル : 7 月 8 日～10 日 東京国際フォーラム

#### 【 製品ホームページ 】

<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/kokoro/>

#### 【 商標について 】

- ・ 「@心の健康」は、株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズの登録商標です。
- ・ その他記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。

#### 【 注釈 】

注1) 厚生労働省「平成 11 年度作業関連疾患の予防に関する研究成果」を利用しています。

注2) 「組織活力調査票(ACTIVE)」は、東京大学大学院医学系研究科と株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズとの産学共同研究において開発された成果物です。

注3) 株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズは、関連特許を取得しました。

#### 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ インフォメーションセンター

電話 : 0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）

※ プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

## 【出展展示会概要】

展示会名: 第 12 回組込みシステム開発技術展 (ESEC2009)

会期: 2009 年 5 月 13 日 (水曜日) ~ 5 月 15 日 (金曜日)

会場: 東京ビッグサイト

本技術の展示ブース: 富士通グループブース (東 47-32)

詳細情報: <http://jp.fujitsu.com/group/fst/events/2009/esec.html>

## 【各社様からのコメント】

### ・インクリメントP株式会社

#### サービスプラットフォーム事業本部 第一技術部 部長 倉田篤氏のコメント

弊社は、地図・通信ナビ技術を早くから追求して来た会社として、Androidプラットフォームにナビゲーションデバイスの可能性を感じております。

この度、高い実力を持つ富士通ソフトウェアテクノロジーズ様にて、弊社がナビゲーション事業にて長く培ってきた地図情報と技術が、Android 開発にご活用いただける事は重要なマイルストーンになるものと確信しており、今後の通信ナビ展開に向けた布石となるものとして期待しております。

### ・株式会社マクニカ

#### クラビスカンパニー カンパニープレジデント 佐藤 剛正 氏のコメント

デジタル家電市場向けの新しいソリューション提案として、このたび富士通ソフトウェアテクノロジーズ様より出展される、Android 採用の「DLNA 対応デジタルフォトフレーム」に、大きな可能性を感じています。

弊社の開発した静止画スライドショー用組込みミドルウェア「MARBO PictImpact」を、DLNA と共に Android に組み込むことにより、短期間で更に魅力的なシステムの提案ができると確信しています。今後の展開に大いに期待します。

## 【商標について】

“Android”は、Google Inc.の登録商標です。

Android is a trademark of Google Inc. Use of this trademark is subject to Google Permissions.

記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話: 0120-052-070 (平日9時~12時、13時~17時受付)

2009年7月7日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 医療現場の声に応え、さらに使いやすく進化、医療安全意識を高められます ～ 医療インシデントレポートシステムの新バージョン『SafeProducer V4』の販売開始 ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(代表取締役社長:天野 宏、本社:横浜市港北区)は、「SafeProducer(セーフプロデューサー)」の新バージョン「SafeProducer V4」を2009年10月から販売を開始します。

本製品は、医療安全に欠かせない医療現場におけるヒヤリ・ハット情報の収集・分析、医療安全情報の共有・フィードバックを総合的にご支援する「医療インシデントレポートシステム」です。SafeProducer V4は、使いやすさの向上、フィードバック結果の評価、画面デザインの刷新により、さらなる医療安全意識を高める事が可能なシステムとして、自信をもってリリースする製品です。

医療事故の抑止策の一つとして、過去のヒヤリ・ハット事例を収集し、医療現場へフィードバックを図る必要性が益々高まっています。しかしながら医療現場では、人手不足や医療の高度化などから報告作業が負担になっている実情があります。

「SafeProducer」は、医療安全の多種多様な運用に合わせることができ高い汎用性から、医療インシデントシステムとしてばかりでなく、「転倒・転落レポート」、「針刺し事故レポート」、「顧客クレームレポート」など、多用途に渡る情報収集・分析システムとして、病院様と共に進化してきました。「SafeProducer V4」では、さらに医療現場のスタッフや安全管理者の声を取り入れ、病院様に最適な医療インシデントレポートシステムを提供し、医療安全活動に貢献します。

なお、本製品は 2009 年7月 15 日(水曜日)から 17 日(金曜日)まで、東京ビッグサイトにて開催される「国際モダンホスピタルショー」に出展します。

### 【 SafeProducer V4 のエンハンスポイント 】

#### 1. スタッフ作業効率を大幅に向上させました

多忙な現場スタッフの作業負担を軽減するため、「マイレボ機能」を実装しました。「マイレボ機能」は、報告途中での一時保存、保存した報告の再利用により、業務の合間のわずかな時間を有効に利用することを可能にしました。また、過去に提出したレポートを抽出して、参照することができ、スタッフ作業の効率化を実現します。

#### 2. 医療現場の声に基いた医療安全活動の改善ができます

医療安全管理者の視点から、スタッフ向けに公開した情報の利用頻度、理解度を量るための、「アンケート機能」を付加しました。「アンケート機能」で収集した現場の声を評価することにより、医療安全活動の活動指標にご活用いただくことで、医療安全活動のPDCA「計画(Plan)」「実行(Do)」「評価(Check)」「改善(Action)」を廻すことが可能になります。

#### 3. 病院様で最適な運用ができる画面デザインにしました

画面デザインを刷新するとともに、4種類の画面デザインの中から最適なものが選択可能になりました。これにより、お客様にさらに心地よく、お使いいただけます。

**【商品体系、ご提供価格】**

当社インフォメーションセンターまで、別途、お問い合わせください

**【発売開始時期】**

SafeProducer V4 : 2009 年 10 月より

**【販売目標】**

SafeProducer V4 : 100 施設／年

**【動作環境】**

運用サーバ	対応 OS	Windows Server 2003 SP2 Windows Server 2003 R2 SP2 Windows Server 2008 R2 上記 OS の 32bit 版のみサポート 本バージョンから Windows 2000 Server、Windows 2000 はサポート外
クライアント PC	対応 OS	Windows XP / Windows Vista
	対象ブラウザ	InternetExplorer 6.0／7.0

**【製品ホームページ】**

SafeProducer V4 <http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/safeproducer/>

**【商標について】**

\* Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

**《お問い合わせ先》**

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話:0120-052-070(平日9時～12時、13時～17時)

2009年8月20日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 「奉行 i シリーズ」ユーザの資産管理業務を効率化 ～ IT 機器管理ソフトウェアの新バージョン『iConductor for 奉行 V3.0』の販売開始 ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ（代表取締役社長：天野 宏、本社：横浜市港北区）は、株式会社オービックビジネスコンサルタント（代表取締役社長：和田 成史、本社：東京都新宿区、以下「OBC」）の新製品「奉行 i シリーズ」と連携する IT 機器管理ソフトウェアの新バージョン「iConductor（アイコンダクター） for 奉行 V3.0」を2009年9月より販売開始します。

本製品は、OBC製「奉行 i シリーズ」ユーザの資産管理業務を効率化し、「資産の保全」業務を強力にサポートします。

近年、企業では内部統制の強化が進展し、特に IT 機器などの「資産の保全」に対してもさまざまな対策を行っています。しかし、IT 機器の管理業務を実施する際、次のような問題が発生し、業務効率や資産情報の正確性の低下だけでなく、内部統制の強化をも妨げています。

- IT 機器管理台帳に記載されている IT 機器の数や場所が実態に合わない。
- 物品、組織、人、契約（リース等）の情報を紐付けて管理しきれない。
- 組織／人事異動情報の反映に手間がかかる。

「iConductor for 奉行 V3.0」は、これらの問題を解決するため「奉行 i シリーズ」の組織、人事、契約情報などを活用し、より効率的かつ正確な資産管理業務を実現します。

### 【本製品の特長】

#### 1. 「奉行 i シリーズ」の情報をベースに資産管理情報を一元化

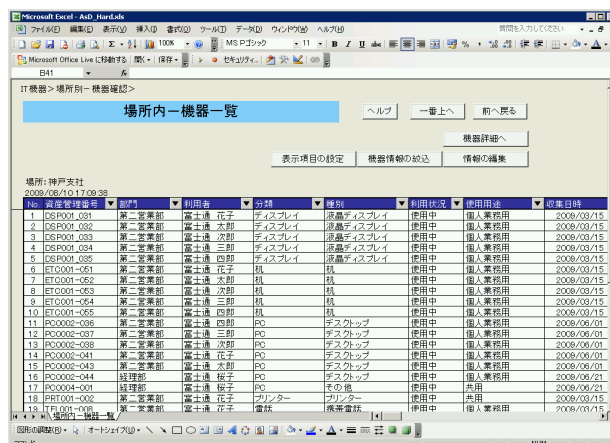
「奉行 i シリーズ」から人事や機器の契約情報を「iConductor」が管理する資産管理台帳へ簡単に登録できるため、物品、組織、人、契約情報などを一元管理できます。これにより組織／人事異動に伴う情報の反映作業なども効率化できます。

#### 2. 短期間で導入可能

「iConductor」は、PC へソフトウェアを導入しなくてもインベントリ情報（注1）を収集可能なため、導入期間を大幅に削減できます。

#### 3. 直感的な操作性

専門的な知識がなくても簡単に操作が可能な Excel ベースの直感的な操作性を提供。また、Excelで管理している機器データのインポートが可能なため、短期間で業務を開始できます。



The screenshot shows the 'iConductor' application window with a menu bar and a toolbar. The main area displays a table titled '場所内一機器一覧' (List of equipment in the location). The table has columns for No., 資産管理番号 (Asset Management Number), 部門 (Department), 利用名 (Usage Name), 分類 (Classification), 種別 (Type), 利用状況 (Usage Status), 使用用途 (Usage Purpose), and 収容日時 (Acquisition Date). The table lists various IT assets such as monitors, PCs, and printers, categorized by department and usage.

No.	資産管理番号	部門	利用名	分類	種別	利用状況	使用用途	収容日時
1	OS/P001-031	第一営業部	富士通 花子	ディスプレイ	液晶ディスプレイ	使用中	個人業務用	2008/03/15
2	OS/P001-032	第二営業部	富士通 次郎	ディスプレイ	液晶ディスプレイ	使用中	個人業務用	2008/03/15
3	OS/P001-033	第三営業部	富士通 三郎	ディスプレイ	液晶ディスプレイ	使用中	個人業務用	2008/03/15
4	OS/P001-034	第一営業部	富士通 花子	ディスプレイ	液晶ディスプレイ	使用中	個人業務用	2008/03/15
5	OS/P001-035	第二営業部	富士通 次郎	ディスプレイ	液晶ディスプレイ	使用中	個人業務用	2008/03/15
6	ET/O001-051	第一営業部	富士通 花子	PC	PC	使用中	個人業務用	2008/03/15
7	ET/O001-052	第二営業部	富士通 次郎	PC	PC	使用中	個人業務用	2008/03/15
8	ET/O001-053	第三営業部	富士通 三郎	PC	PC	使用中	個人業務用	2008/03/15
9	ET/O001-054	第一営業部	富士通 花子	PC	PC	使用中	個人業務用	2008/03/15
10	ET/O001-055	第二営業部	富士通 次郎	PC	PC	使用中	個人業務用	2008/03/15
11	PS/O002-036	第一営業部	富士通 花子	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
12	PS/O002-037	第二営業部	富士通 次郎	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
13	PS/O002-038	第三営業部	富士通 三郎	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
14	PS/O002-039	第一営業部	富士通 花子	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
15	PS/O002-040	第二営業部	富士通 次郎	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
16	PS/O002-041	第三営業部	富士通 三郎	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
17	PS/O002-042	第一営業部	富士通 花子	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
18	PS/O002-043	第二営業部	富士通 次郎	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
19	PS/O002-044	第三営業部	富士通 三郎	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01
20	PS/O002-045	第一営業部	富士通 花子	プリンター	インクジェットプリンター	使用中	個人業務用	2008/06/01



【株式会社オービックビジネスコンサルタント様からのコメント】

株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長 和田 成史 様

「勘定奉行」をはじめとする、中堅中小企業向けの基幹業務ソリューション「奉行シリーズ」を展開しているOBCでは、お客様の内部統制強化の課題を解決するソリューションとして、「奉行内部統制支援 Solution Framework」を提供してまいりました。

業務統制基盤を支えるソリューションの一つとして、物品管理に加え、ITの管理が可能な富士通ソフトウェアテクノロジーズ様の「iConductor for 奉行」の登場で、お客様にさらなる満足を提供できると確信しております。

【 販売開始時期 】

2009年9月より全国の OBC 販売パートナーを通じて販売します。

【 価格 】

インベントリ情報を収集する PC 数に応じた価格です。

(例) 収集する PC 数が 100 台の場合の価格

商 品 名	価 格 (税別)
iConductor for 奉行 100 ライセンス	820,000 円
iConductor 年間サポートサービス	123,000 円

※ 別途、オプションサポートサービス、スタートアップサービス等を用意しています。

【 販売目標 】

300 企業/年

【 動作環境 】

対応 OS	運用サーバ	Windows Server 2003 Standard / Enterprise / Web Edition Windows Server 2008 Standard / Enterprise
	操作 クライアント	Windows Vista Ultimate / Enterprise / Business / Home Premium / Home Basic Windows XP Professional/Home Edition Windows 2000 Professional ※Microsoft Excel 2000 以降が必要です
	管理対象 PC	Windows 2000 Professional/Server 以降
	※ POP3/SMTP など、電子メールの送受信が行える環境が必要です	
対象の奉行シリーズ		奉行 i シリーズ、奉行 V ERP シリーズ

【 製品ホームページ】

iConductor for 奉行 V3.0 : <http://jp.fujitsu.com/fst/services/iconductor/product-bugyo/>

【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## 【用語解説】

注1:PCなどのIT機器やソフトウェアに関する資産情報

## 【お問合せ先】

《購入に関するお問合せ先》

株式会社オービックビジネスコンサルタント 営業本部

Tel: 03-3342-1880 Fax: 03-3342-1874

ホームページ <http://www.obc.co.jp/>

《製品に関するお問合せ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ インフォメーションセンター

TEL:0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）

ホームページ <http://jp.fujitsu.com/fst/>

[ PRESS RELEASE ]

2009年10月6日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

## 「Windows Embedded Partner」SI 部門で国内 No. 1 を獲得 ～ Windows Embedded Excellence Award を 3 年連続受賞～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ（本社：横浜市、代表取締役社長：天野 宏）は、「Microsoft Windows Embedded Excellence Award 2009（注1）」のシステム・インテグレーター部門を受賞いたしました。今回の受賞は、3年連続・通算4度目の受賞となります。

### 【受賞の背景】

当社は、2002 年より「Microsoft Windows Embedded Partner（注2）」として、多数のお客様へ「Windows Embedded サービス」を提供してまいりました。

当社の「Windows Embedded サービス」は、東京エレクトロン デバイス株式会社様と協調し、組込みデバイスを開発するお客様の企画、設計コンサルティングから、開発、トレーニング、サポートに至るまで、デバイス開発をトータルでサポートするとともに、数多くの経験から得られるノウハウを継続的に蓄積し、より高度な技術の提供に努めてまいりました。

今回の受賞は、3 年連続・通算 4 度目の受賞であり、これら当社の提案力、技術力および、プロモーション活動などの実績がマイクロソフト社により国内 No.1 であると評価されたものです。

新たに昨年度からは「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティングサービス」の提供開始や、本年 5 月開催「第 12 回組込みシステム開発技術展（ESEC）」での「Windows CE 高速起動」の展示などを通じ、より多くのお客様に Windows Embedded の提案を行い、Windows Embedded ビジネスの拡大に貢献してまいりました。

今後も当社は、No.1 システム・インテグレーターとしての高度な技術とノウハウの提供を通じ、お客様の Windows Embedded 機器開発に貢献してまいります。

今回の当社の受賞に対し、マイクロソフト株式会社 業務執行役員 OEM 統括本部 OEM エンベデッド本部長 山崎雄彦氏は、次のように述べています。

「富士通ソフトウェアテクノロジーズ殿は SI として、昨年に続き今年もアワードを受賞されました。Windows Embedded CE の開発者向けに、高速起動や Linux 環境からの移行支援などさまざまな新しいサービスを提供され、また、多くの案件で優れた成果を残されたことでお客様からの信頼を勝ち取られました。今後も Windows Embedded で開発されるお客様を強力にご支援いただけることと期待しております。」

また、東京エレクトロン デバイス株式会社 CN 事業本部 事業本部長 天野 勝之 氏は、次のように述べています。

「株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ様と弊社は、協調して国内のお客様へ Windows Embedded ソリューションをご提供させていただいております。

富士通ソフトウェアテクノロジーズ様の高度な開発力と強力なサポートサービスはお客様から高い信頼と評価を頂いており、その功績が今回の 3 年連続・4 度目の Microsoft Windows Embedded Excellence Award 受賞という他に類を見ない快挙に繋がったと確信しております。

Windows Embedded 製品を中心とした時代をリードするソリューションの継続提供のため、今後も引き続きご協力させていただきます。」

## 【当社の Windows Embedded Partner としての歩み】

- 2009 年 9 月 Windows Embedded Excellence Award 2009 受賞
- 2009 年 5 月 「第 12 回組込みシステム開発技術展(ESEC)」で「Windows CE 高速起動」を展示
- 2009 年 1 月 Windows Embedded Excellence Award 2008 受賞
- 2008 年 「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティングサービス」の提供開始
- 2008 年 Most Valuable Professional として Windows Embedded 部門で当社社員が表彰(国内最多となる 4 名の MVP が在籍)
- 2007 年 Windows Embedded Excellence Award 2007 受賞  
Windows Embedded Partner Gold Level に認定
- 2005 年 マイクロソフト社より Windows Embedded Partner Of The Year 2005(SI 部門)を受賞
- 2003 年 マイクロソフト社より Most Valuable Professional として Windows Embedded 部門で当社社員が表彰
- 2002 年 Windows Embedded Partner に登録し、Windows Embedded ビジネスを本格的に開始

## 【関連ホームページ】

Microsoft Windows Embedded についての詳細

<http://www.microsoft.com/windowseembedded/ja-jp/default.mspx>

当社の Windows Embedded サービスの詳細

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/embedded-windows/>

## 【商標について】

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 【注釈】

### (注 1) Microsoft Windows Embedded Excellence Award

Windows Embedded に関する高度なサービス・技術をワールドワイドで認められたパートナーへ贈られる称号。

### (注 2) Microsoft Windows Embedded Partner

Microsoft Windows Embedded プラットフォームをベースにした製品、サービス、またはソリューションを提供するシステム・インテグレーター (SI)、独立ソフトウェア・ベンダー (ISV)、独立ハードウェア・ベンダー (IHV)、販売代理店 (VAP)、CPU ベンダー、トレーニング・ベンダーのコミュニティです。

## 《お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）

[ PRESS RELEASE ]

2008年7月16日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジー

## 組込み向け「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」の提供開始 ～ 新たな組込み機器開発の期間短縮とリスクを低減し、トータルコストを削減 ～

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジー(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、「組込み Linux」からマイクロソフト株式会社が提供する「Windows Embedded OS(以下、「Windows OS」)への移行を検討中のお客様向けに、組込みシステムの移行を支援する「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」を本日より提供いたします。本サービスによりお客様は、新しい機器の市場投入までの開発期間を短縮、開発上のリスクを低減しトータルコストを削減することができます。

近年、組込みソフトウェアの進歩がモバイル端末、デジタル家電、車載機などの組込み機器の発展を支えています。特に最近では組込み機器のネットワーク化、マルチメディア化にともない、従来の RTOS(注 1)や「組込み Linux」などのプラットフォームから、より高度な機能を持つ「Windows OS」へプラットフォーム移行を必要とするお客様が増えています。そのため、既存の開発資産やエンジニアを効率的に移行し、製品の市場投入期間、トータルコスト削減のニーズが高まっています。

今回提供する「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」は、新たな機器開発を検討中のお客様に対し、最も効率的に組込みシステム全体が移行できるようコンサルティングするサービスです。

### 【サービスの概要】

「Windows OS」、「組込み Linux」に精通したエンジニアが、お客様の既存組込み機器システムの構成や開発資産などを調査・分析し、実際に「Windows OS」へ移行する場合の開発プロジェクトの進め方や設計上の留意点などをコンサルティングします。具体的には「組込み Linux」で利用しているコンポーネントを「Windows OS」上で実現する方法の提案や、「組込み Linux」エンジニアの「Windows OS」エンジニアへスムーズに技術移転するためのトレーニングプログラムを策定します。また、開発工程においても、メールや電話で疑問点やトラブルへの技術サポートを実施します。

※移行設計後のエンジニアリングサービスなどは、従来の「Windows Embedded サービス」として提供

当社はこれまでも多くのお客様の組込み機器向けに「Windows OS」や「組込み Linux」のポーティング、エンジニアリングなどの「組込み開発トータルサービス」を提供。特に「Windows OS」では国内最高レベルのエンジニアが在籍し、マイクロソフト社より最も信頼できるパートナー「Windows Embedded Gold Partner(注 2)」として「Microsoft Windows Embedded Excellence Award(注 3)」を2年連続受賞しています。今後も当社は最高の組込み技術をベースにお客様の要望にお応えし、品質・コスト・納期を追求した組込みシステム開発をお約束します。

## マイクロソフト株式会社

### 業務執行役員 OEM 統括本部 OEM エンベデッド本部長 山崎雄彦氏のコメント

「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」のご発表、おめでとうございます。異なる組込みプラットフォーム間の移行の際に付随する組込み開発者の多大な作業負荷や作業時間という課題を軽減する本サービスに対して、今後さまざまな開発プロジェクトにおいて需要が生じてくると思います。Windows Embedded Partner としてさまざまなプロジェクトに携わってこられた株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ様が提供される本サービスによって、さらに多くの開発者の方々に Windows Embedded を採用いただき、同製品の容易な開発性を実感いただけることになることを期待しております。

## 【Microsoft Windows Embedded Partner 各社様からのコメント】(五十音順)

岡谷エレクトロニクス株式会社(<http://www.oec.okaya.co.jp/>)

### エンベデッドシステム営業部 部長 杉原豊氏のコメント

「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」のご発表を心からご支持申し上げます。マイクロソフトの代理店と致しましても、貴社の本サービスをお客様へご紹介させていただくことで、Windows Embedded ビジネスが益々発展することを期待しております。

東京エレクトロ デバイス株式会社(<http://www.teldevice.co.jp/>)

### CN 事業本部 事業本部長 天野勝之氏のコメント

組込み機器製品の開発、コンサルティングビジネスで数多くの実績を持つ株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ様による本サービスは、Windows Embedded への変更を検討されているお客様にとって非常に心強いサービスです。長年、協業させて頂いている弊社にとっても有意義なサービスであり、Windows Embedded がより多くの製品へ採用されることを期待しております。

ユニダックス株式会社(<http://www.unidux.co.jp/embedded/>)

### 情報機器・ソフトウェア営業部 部長 内田忠則氏のコメント

「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」の提供開始をお祝い申し上げます。富士通ソフトウェアテクノロジーズ様の豊かな経験と卓越したエンジニアリングリソースの提供により Linux から Windows Embedded への移行が促進され、組込み機器の市場がより多彩で魅力的になるものと確信しております。機器メーカー様の開発を共に支援する Windows Embedded Partner の一員として、富士通ソフトウェアテクノロジーズ様のご活躍を期待いたします。

菱洋エレクトロ株式会社(<http://www.ryoyo.co.jp/>)

### システム情報機器営業第一本部 執行役員本部長 大槻正彦氏のコメント

近年、ますます組込み機器は様々なネットワークを介し Web サービス等との連携を進めています。こうした中、組込み機器の開発者の方々は要求される機能追加やアップグレードへの対応に苦慮されています。Windows 資産の活用を希望されるお客様も増えてきており、今回、富士通ソフトウェアテクノロジーズ様が提供する「Linux to Windows Embedded マイグレーションコンサルティング」は、組込み Linux より Windows Embedded へ移行されるお客様にとって大いに役立つものと思います。

## 【関連ホームページ】

- ・富士通ソフトウェアテクノロジーズ「Windows Embedded サービス」詳細

<http://jp.fujitsu.com/fst/services/embedded-windows/>

- ・Microsoft Windows Embedded についての詳細

<http://www.microsoft.com/japan/windows/embedded>

## 【商標について】

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 【注釈】

(注 1) RTOS(Real-time Operating System)

処理をリアルタイムに実行することを重視し、そのための機能を実装した OS のこと。

(注 2) Windows Embedded Gold Partner

Windows Embedded Partner における最優良パートナーとしての称号。当社は 2007 年 3 月 23 日に認定されました。

(注 3) Microsoft Windows Embedded Excellence Award

Windows Embedded に関する高度なサービス・技術をワールドワイドで認められたパートナーへ贈られる称号。2007 年より、これまでの「Microsoft Windows Embedded Partner of the Year」から名称変更されました。

## 《お客様お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話：0120-052-070（平日9時～12時、13時～17時受付）



[ PRESS RELEASE ]

2008年10月16日  
株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ**「NavigStage」が「ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定制度」の認定を取得**

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ(本社:横浜市、代表取締役社長:芋川 敏)は、当社のeラーニングアウトソーシングサービス「NavigStage(ナビステージ)」において、総務省の推進する「ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定制度」の認定を、10月3日付で財団法人マルチメディア振興センターから取得いたしました。eラーニングアウトソーシングサービスとしては初の認定となります。

「ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定制度」は、ASP・SaaS サービスのうち、安全・信頼性に係る情報を適切に開示し、かつ一定の要件を満たすものを認定することにより、ユーザによるASP・SaaS サービスの比較・評価・選択を容易にするとともに、認定を受けたASP・SaaS サービスの普及を図り、情報通信システムの利用を促進することを目的としています。

「NavigStage」は、2002年に、国内シェア No1 の『Internet Navigware』をLMS<sup>(注)</sup>として採用し、サービスを開始しました。当初より、安定したサービスと迅速なサポートに高い評価をいただき、製造業、金融業、保険業、官公庁、文教など多くのお客様にご利用いただいております。

また、富士通株式会社が提供する、大学入学前の学生を対象とした入学前ソリューションのシステムに「NavigStage」が採用され、学生が入学後に必要な基礎知識を学ぶためのeラーニング環境を提供しております。2007年度には、関東学院大学工学部の入学生を対象に、eラーニングとソーシャルネットワークサービス(当社「知創空間」利用)を融合した日本初の入学前教育を提供し、基礎学習の環境だけに留まらないコミュニケーションの場を提供いたしました。

当社は、今後ともお客様に安全かつ質の高いASP・SaaS サービスを提供できるようサービスの充実と信頼性向上に努めてまいります。

この度の認証内容は、次のとおりです。

**【ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定取得の概要】**

- 1.サービス名 NavigStage
- 2.認定番号 第 0027-0810 号
- 3.認定期間 平成 20 年 10 月 3 日 ~ 平成 21 年 10 月 2 日
- 4.審査登録機関 財団法人マルチメディア振興センター

<http://www.fmmc.or.jp/>

#### 【関連ホームページ】

- ・「ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定制度」についての詳細  
<http://www.fmmc.or.jp/asp-nintei/>
- ・当社「NavigStage」の詳細  
<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/navigstage/>
- ・当社「知創空間」の詳細  
<http://jp.fujitsu.com/group/fst/services/chisokukan/>
- ・富士通プレスリリース「日本初、SNS と e-Learning を融合した入学前教育を導入」  
<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2008/08/1.html>

#### 【商標について】

記載されている社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

#### 【注釈】

(注) LMS (Learning Management System)

学習管理、教材作成、成績管理など e ラーニング運用に必要な機能を備えた管理システム。

#### 《お客様お問い合わせ先》

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ

インフォメーションセンター

電話: 0120-052-070 (平日9時～12時、13時～17時受付)